

丸亀市生涯学習推進計画に関するアンケート 調査報告書

令和7年 8月

丸亀市

目次

I. 調査概要	1
1 調査目的	1
2 調査の方法等	1
3 報告書の見方	1
II. 調査結果	2
1 回答者の属性	2
2 日頃の生活について	7
(1) ゆとりの時間の有無	7
(2) ゆとりの時間の過ごし方について	8
(3) ゆとりの時間に関する満足度	9
(4) ゆとりの時間に満足していない理由	10
3 悩みや不安について	11
(1) コミュニケーションの場や相手について	11
(2) 悩みや不安の有無と内容	13
(3) 孤独感の程度	15
4 生涯学習について	16
(1) 生涯学習の意義と必要性	16
(2) 生涯学習の内容	18
(3) 生涯学習をする目的	20
(4) 生涯学習の機会	21
(5) 生涯学習をしていない理由	23
(6) 生涯学習に関する情報について	24
(7) 生涯学習に関して必要な取り組み	27
5 地域活動について	28
(1) 地域社会と生涯学習	28
(2) 地域活動への参加について	30
(3) 地域学校協働活動について	32
(4) 学校以外の場で子どもに学ばせたいこと	34
6 家庭教育について	35
(1) 家庭教育での悩み	35
(2) 利用したい子育て支援	36
(3) 家庭教育・子育てに関して学びたいこと	37
(4) ケアが必要な人への支援	38
7 今後の生涯学習について	39
(1) 「丸亀市民学級」の受講経験	39
(2) 理想的な講座形式	41
(3) 施設運営の経費負担について	42

I. 調査概要

1 調査目的

本調査は、「第5次丸亀市生涯学習推進計画」の策定に向け、生涯学習の現状や皆さまが感じられていること等をお聞かせいただき、次期計画づくりの基礎資料とするために実施しました。

2 調査の方法等

調 査 対 象	住民基本台帳から無作為抽出した18歳以上の市民
調 査 実 施 期 間	令和7年7月1日～7月22日
調 査 方 法	郵送による配布 郵送回答／WEB（インターネット）回答
調 査 数	3,000人
回 収 数（率）	830人（27.7%）

3 報告書の見方

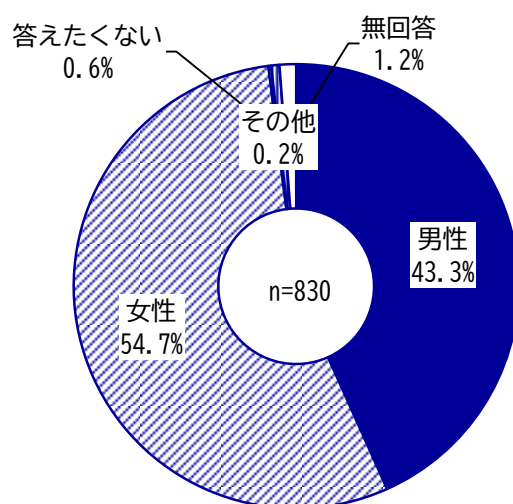
- （1）基数となるべき実数は、（n=〇〇）と表示する。各比率はすべてを100%として百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。そのために、百分率の合計が100%にならないことがある。
- （2）質問文の中に、複数回答が可能な質問があるが、その場合、回答の合計は回答者数を上回ることがある。
- （3）図中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している場合がある。また、グラフの数値が0.0%の場合は表記を省略している。

II. 調査結果

1 回答者の属性

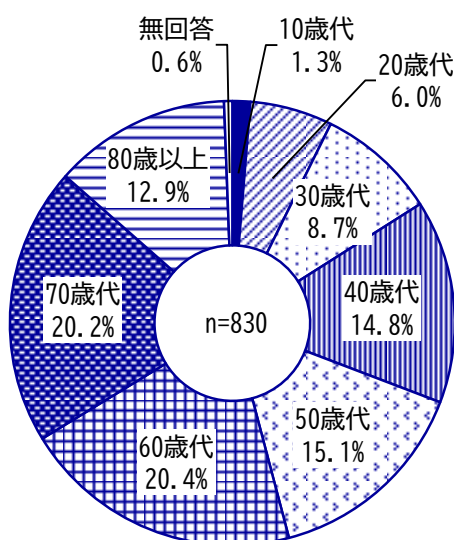
問1 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

➤ 「女性」が54.7%、「男性」が43.3%となっています。



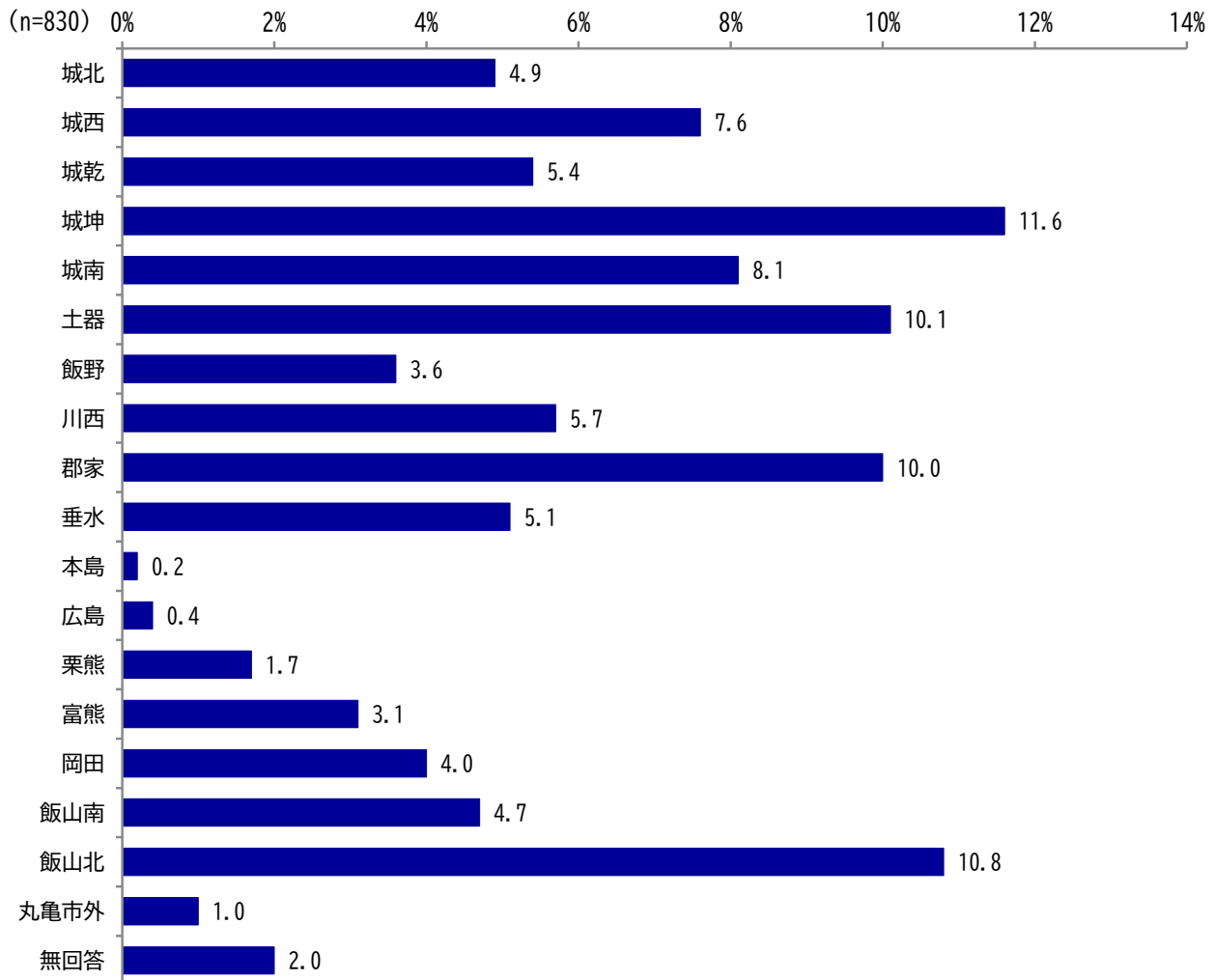
問2 あなたの年代をお答えください。(1つに○)

➤ 「60 歳代」が20.4%で最も高く、次いで「70 歳代」が20.2%、「50 歳代」が15.1%と続いています。



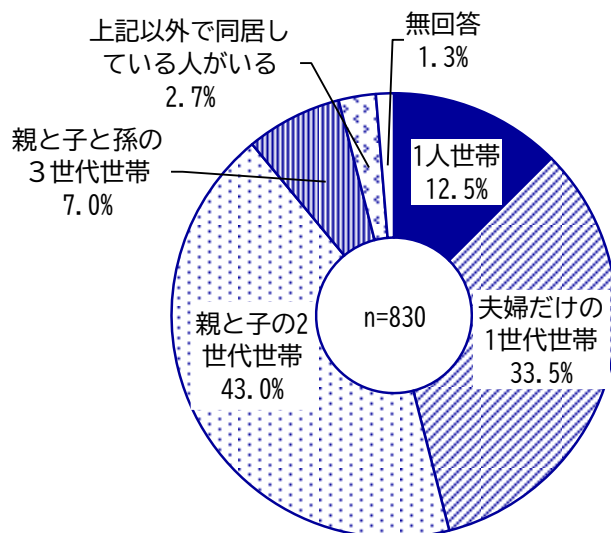
問3 あなたの住んでいる地域をお答えください。(1つに○)

➤ 「城坤」が11.6%で最も高く、次いで「飯山北」が10.8%、「土器」が10.1%と続いています。



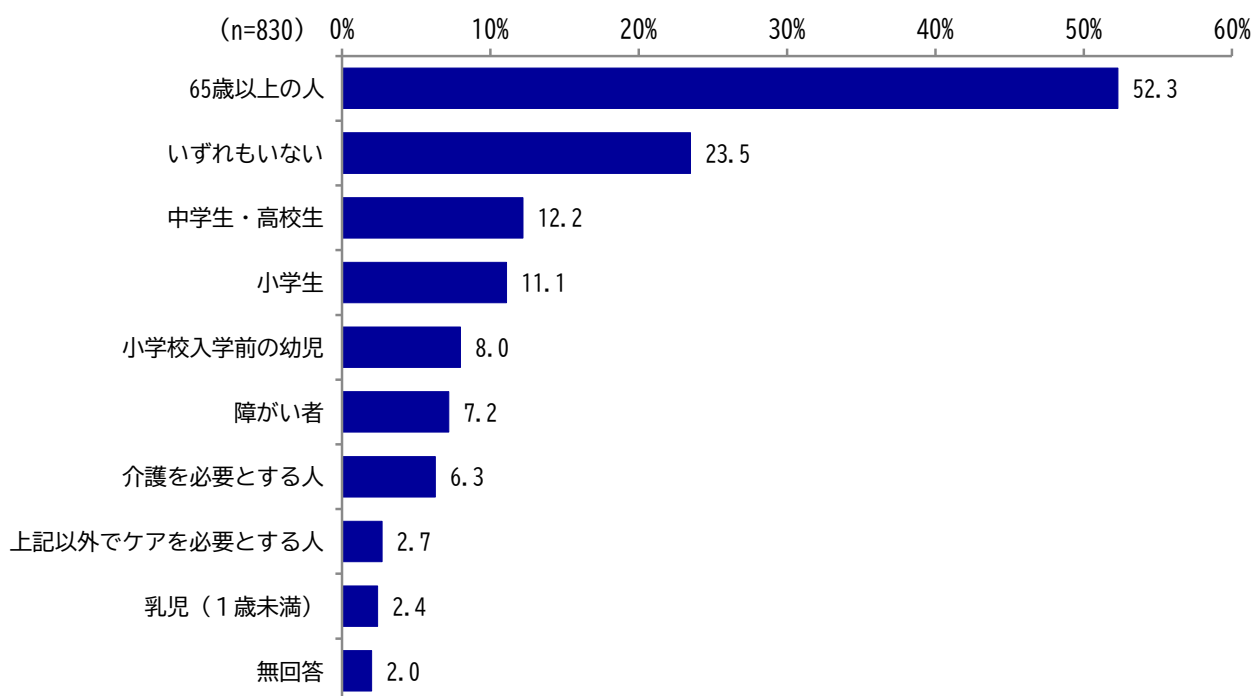
問4 あなたの世帯（同居人含む）構成をお答えください。（1つに○）

- 「親と子の2世代世帯」が 43.0%で最も高く、次いで「夫婦だけの1世代世帯」が 33.5%、「1人世帯」が 12.5%と続いています。



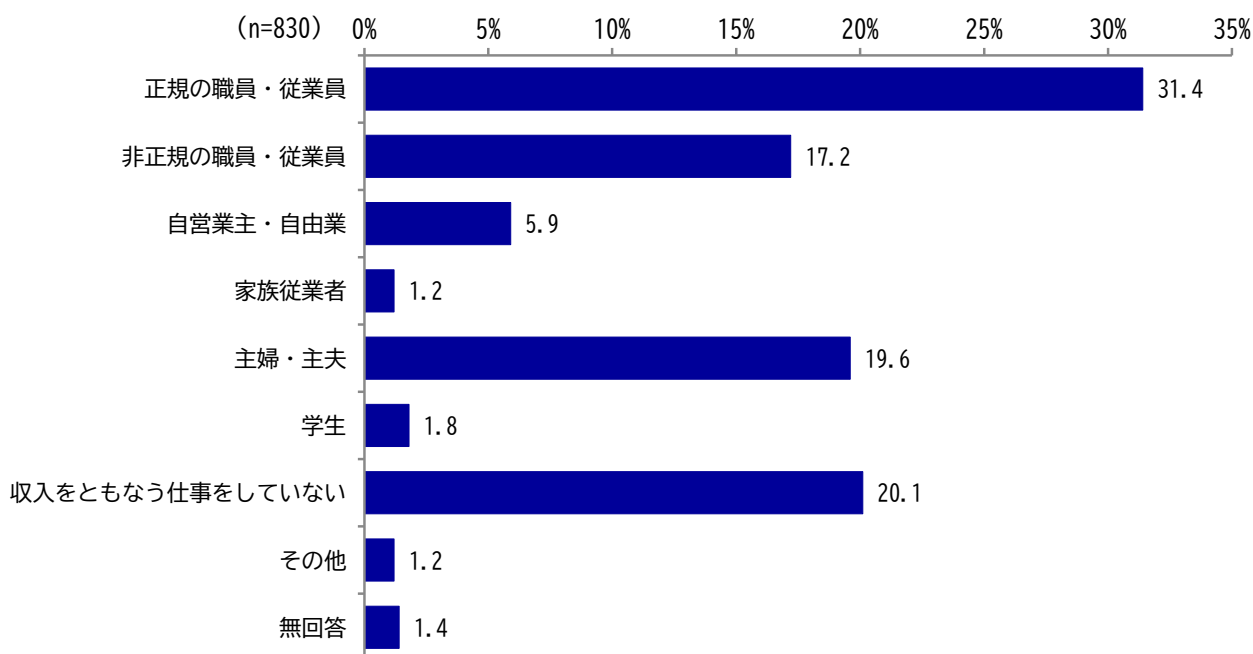
問5 あなたもしくは同居している家族の中に次のような方はいますか。（当てはまるものすべてに○）

- 「65歳以上の人」が 52.3%で最も高く、次いで「いずれもない」が 23.5%、「中学生・高校生」が 12.2%と続いています。



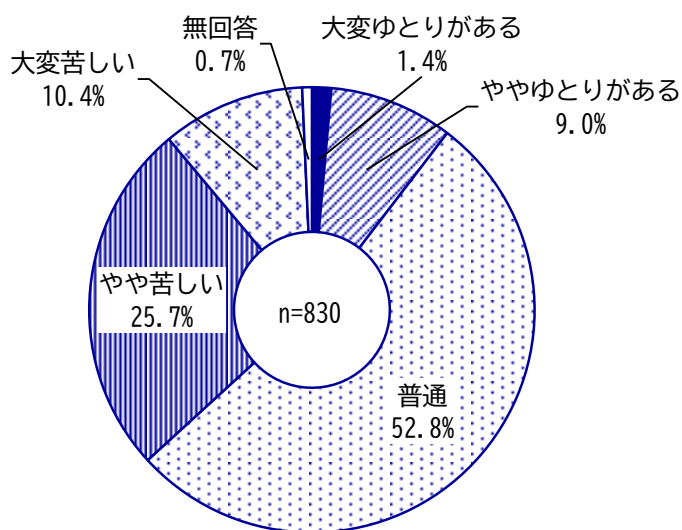
問6 あなたのお仕事についてお答えください。(1つに○)

- 「正規の職員・従業員」が 31.4%で最も高く、次いで「収入をともなう仕事をしていない」が 20.1%、「主婦・主夫」が 19.6%と続いています。



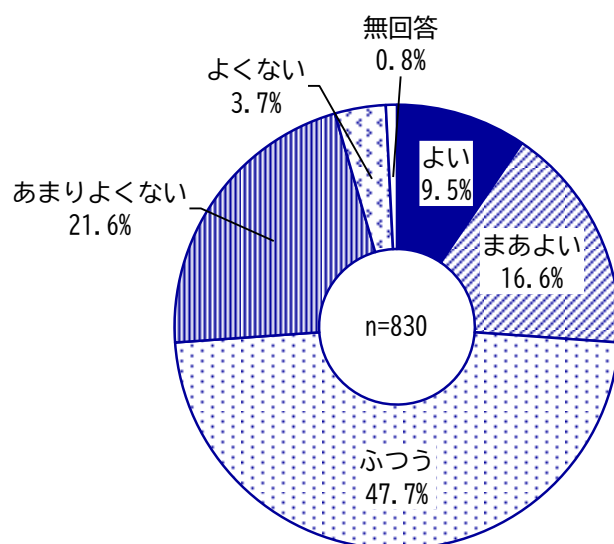
問7 あなたの現在の家計状況について教えてください。(1つに○)

- 「普通」が 52.8%で最も高く、次いで「やや苦しい」が 25.7%、「大変苦しい」が 10.4%と続いています。
- 「大変ゆとりがある」と「ややゆとりがある」の合計は 10.4%、「やや苦しい」と「大変苦しい」の合計は 36.1%となっており、苦しいと感じている人の割合が 25.7 ポイント上回っています。



問 8 あなたの現在の心身の健康状態を教えてください。(1つに○)

- 「ふつう」が 47.7%で最も高く、次いで「あまりよくない」が 21.6%、「まあよい」が 16.6%と続いています。
- 「よい」と「まあよい」の合計は 26.1%、「あまりよくない」と「よくない」の合計は 25.3%となっています。

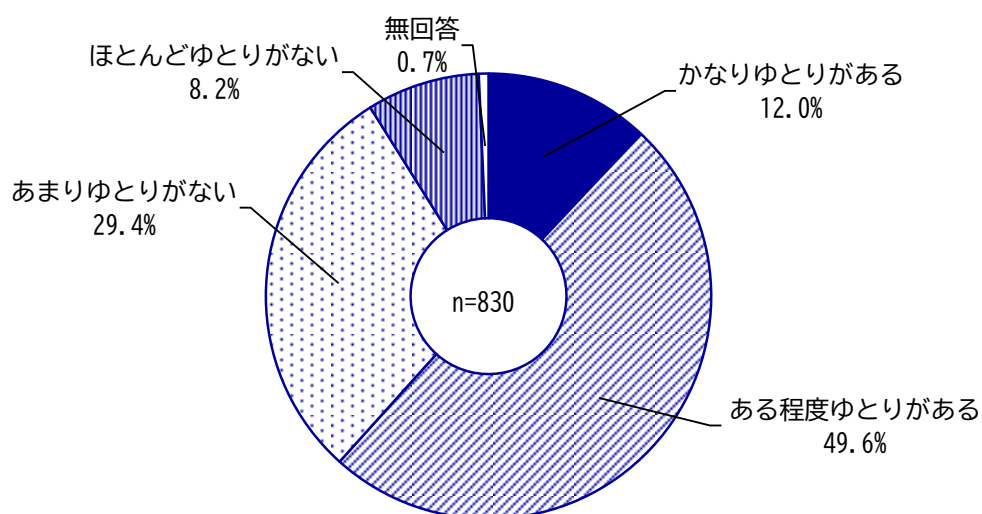


2 日頃の生活について

(1) ゆとりの時間の有無

問 9 あなたは、日頃の生活の中で、休んだり、好きなことをしたりする時間のゆとりがありますか。
(1つに○)

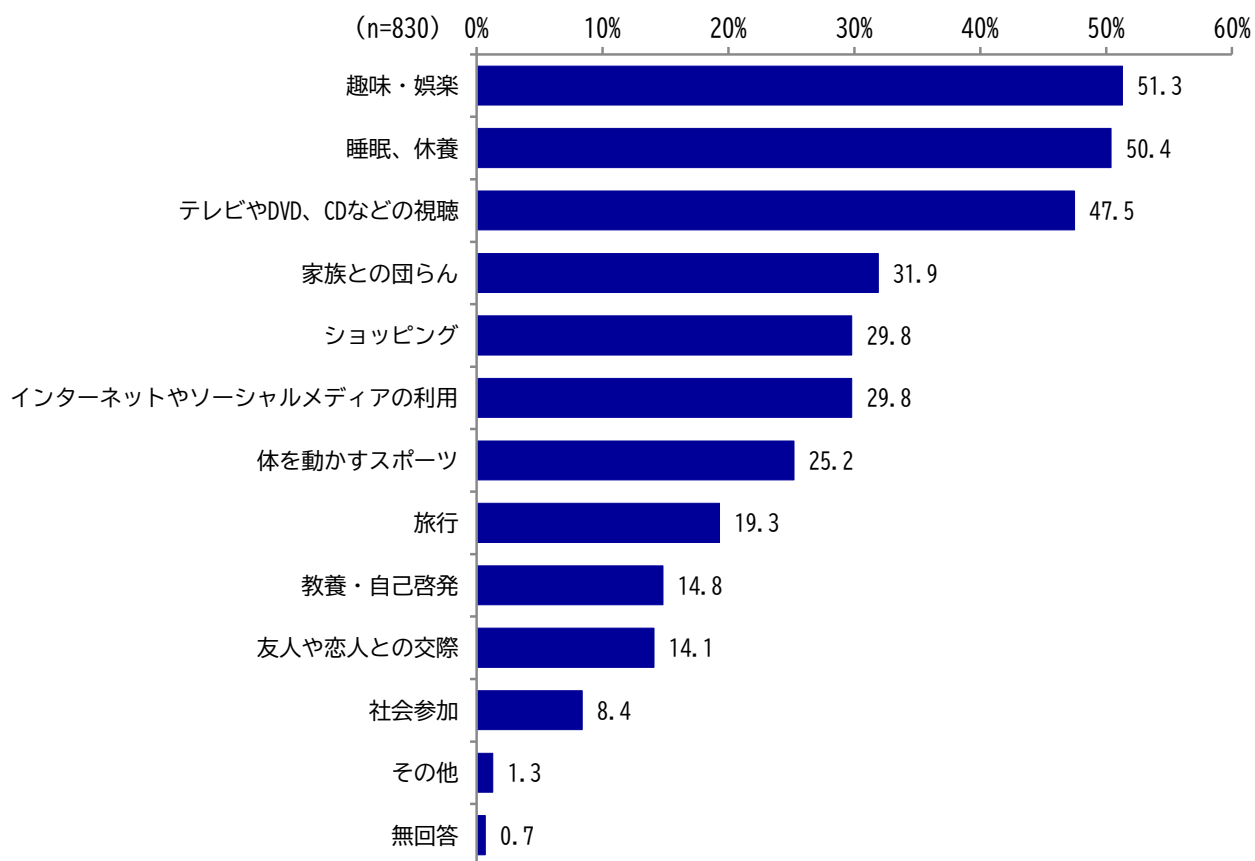
- 「ある程度ゆとりがある」が49.6%、「あまりゆとりがない」が29.4%と続いています。
- 「かなりゆとりがある」と「ある程度ゆとりがある」の合計は61.6%、「あまりゆとりがない」と「ほとんどゆとりがない」の合計は37.6%となっており、時間のゆとりがあると感じている人が24.0ポイント上回っています。



(2) ゆとりの時間の過ごし方について

問 10 あなたは、日頃の生活の中で、休んだり、好きなことをしたりする時間を、どのように過ごしていますか。(当てはまるすべてに○)

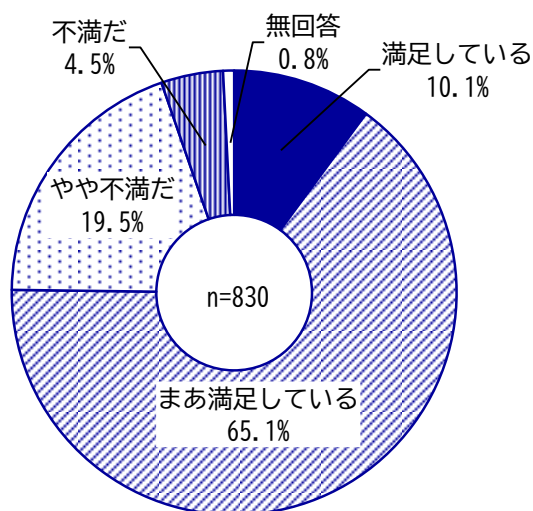
➤ 「趣味・娯楽」が51.3%で最も高く、次いで「睡眠、休養」が50.4%、「テレビやDVD、CDなどの視聴」が47.5%と続いています。



(3) ゆとりの時間に関する満足度

問 11 あなたは、日頃の生活の中で、休んだり、好きなことをしたりする時間の過ごし方に、どの程度満足していますか。(1つに○)

- 「まあ満足している」が 65.1%、「やや不満だ」が 19.5%と続いています。
- 「満足している」と「まあ満足している」の合計は 75.2%、「やや不満だ」と「不満だ」の合計は 24.0%となっており、満足していると感じている人の割合が 51.2 ポイント大きく上回っています。

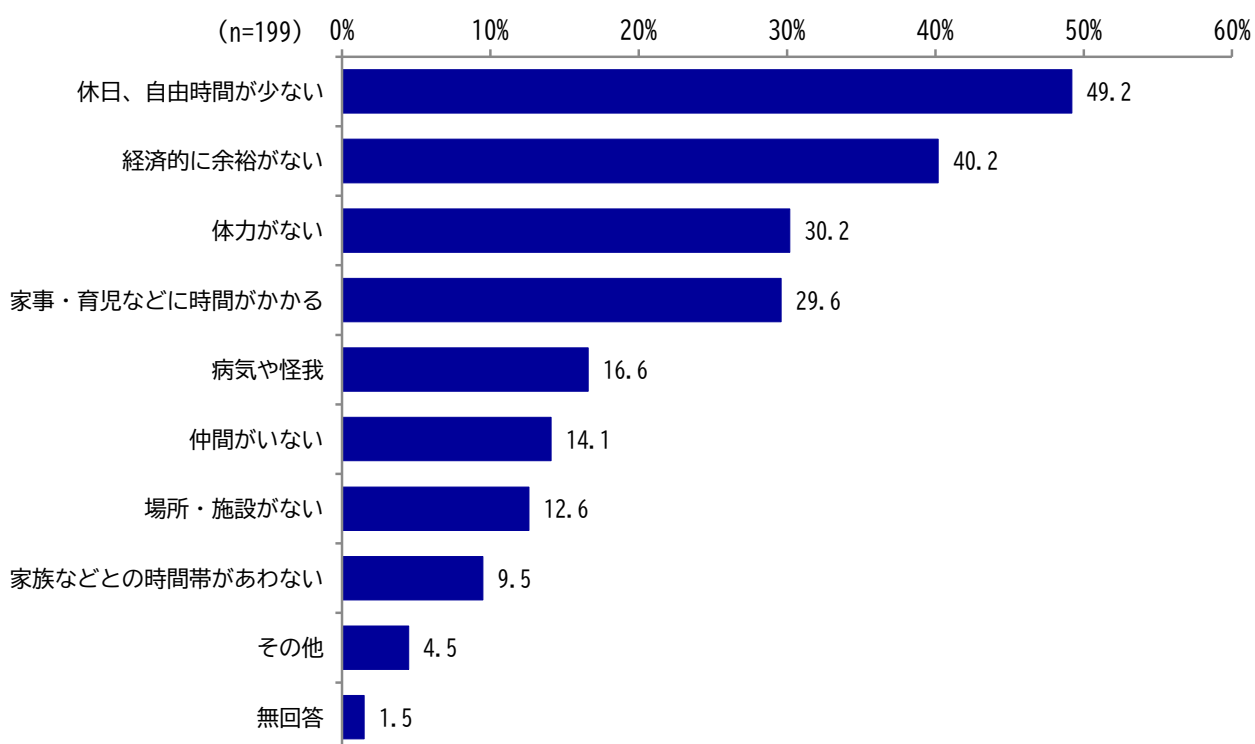


(4) ゆとりの時間に満足していない理由

問 11 で「やや不満だ」、「不満だ」と答えた方におたずねします。

問 12 日頃の生活の中で、休んだり、好きなことをしたりする時間の過ごし方に満足していない理由は何ですか。(当てはまるすべてに○)

- 「休日、自由時間が少ない」が 49.2%で最も高く、次いで「経済的に余裕がない」が 40.2%、「体力がない」が 30.2%と続いています。

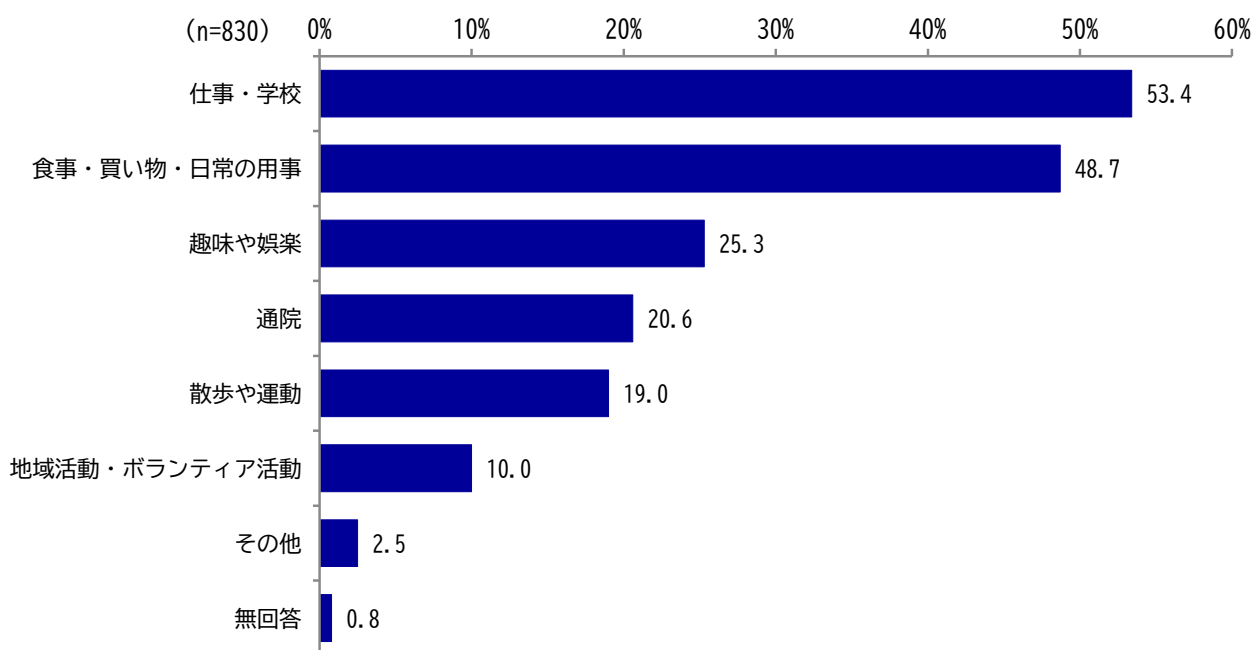


3 悩みや不安について

(1) コミュニケーションの場や相手について

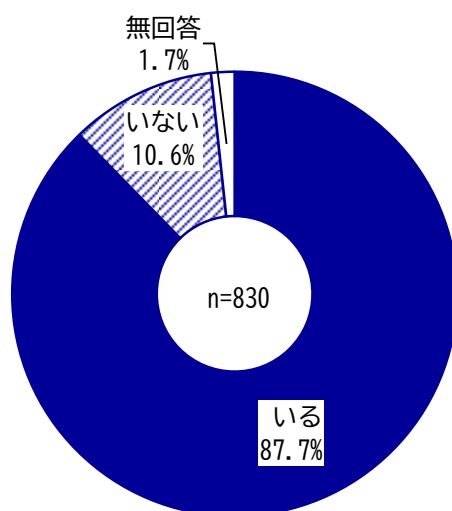
問 13 あなたは、最近1週間で、どのような時に人と会ったり話したりしましたか。(当てはまるすべてに○)

➤ 「仕事・学校」が 53.4%で最も高く、次いで「食事・買い物・日常の用事」が 48.7%、「趣味や娯楽」が 25.3%と続いています。



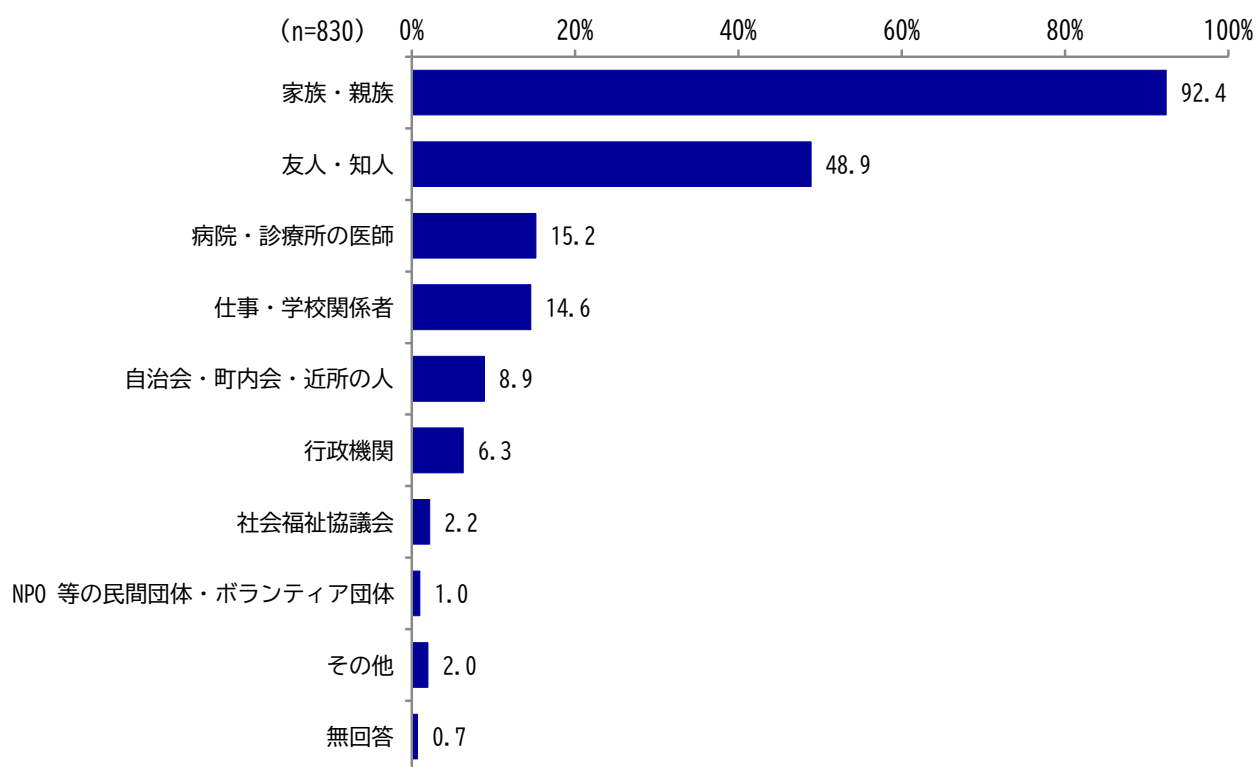
問 14 あなたは日頃、気軽に話せる相手はいますか。(1つに○)

➤ 「いる」が 87.7%、「いない」が 10.6%となっています。



問 15 あなたは、困った時に誰を頼りますか。（当てはまるすべてに○）

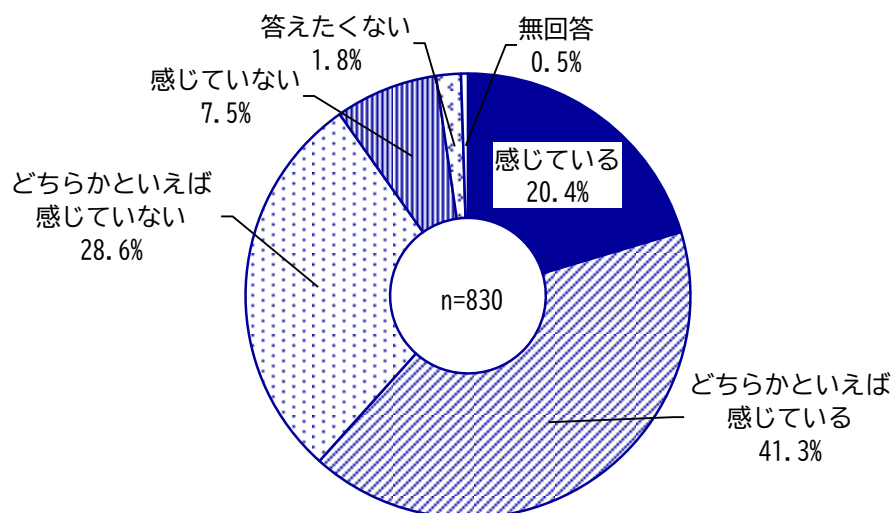
➤ 「家族・親族」が 92.4%で最も高く、次いで「友人・知人」が 48.9%、「病院・診療所の医師」が 15.2%と続いています。



(2) 悩みや不安の有無と内容

問 16 あなたは、日頃の生活の中で、悩みや不安を感じていますか。(1つに○)

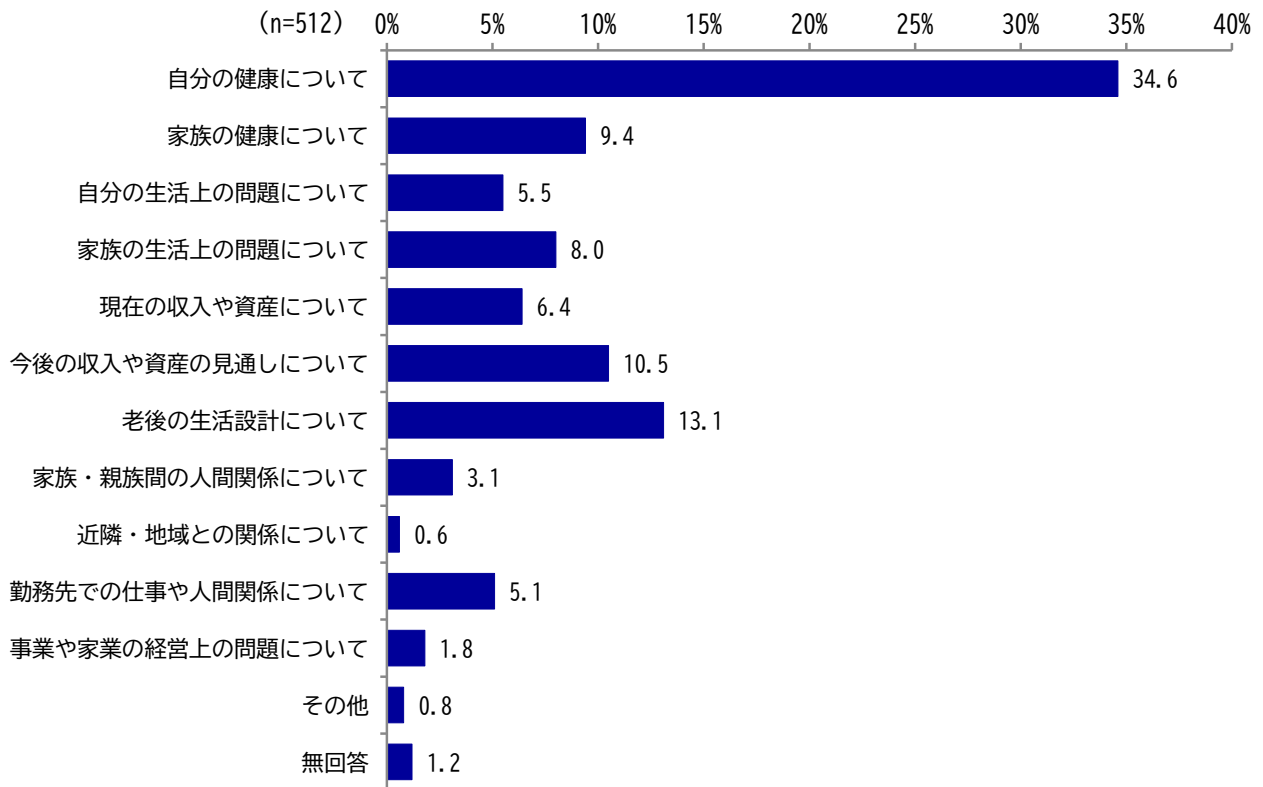
- 「どちらかといえば感じている」が 41.3%で最も高く、次いで「どちらかといえば感じていない」が 28.6%、「感じている」が 20.4%と続いています。
- 「感じている」と「どちらかといえば感じている」の合計は 61.7%、「どちらかといえば感じていない」と「感じていない」の合計は 36.1%となっており、悩みや不安を感じている人の割合が、25.6 ポイント上回っています。



問 16 で「感じている」「どちらかといえば感じている」と答えた方におたずねします。

問 17 悩みや不安を感じているのはどのようなことについてですか。(1つに○)

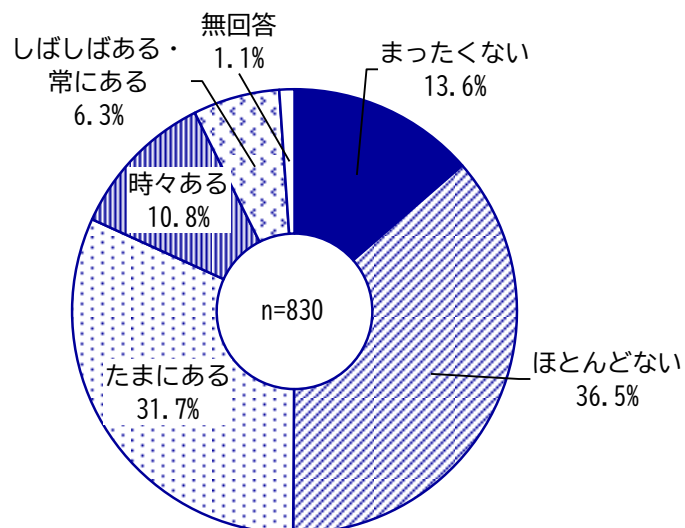
➤ 「自分の健康について」が 34.6%で最も高く、次いで「老後の生活設計について」が 13.1%、「今後の収入や資産の見通しについて」が 10.5%と続いています。



(3) 孤独感の程度

問 18 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。(1つに○)

- 「ほとんどない」が36.5%で最も高く、次いで「たまにある」が31.7%、「まったくない」が13.6%と続いています。
- 「まったくない」と「ほとんどない」の合計は50.1%、「たまにある」、「時々ある」、「しばしばある・常にある」の合計は48.8%となっており、孤独であると感じない人が半数を占めています。

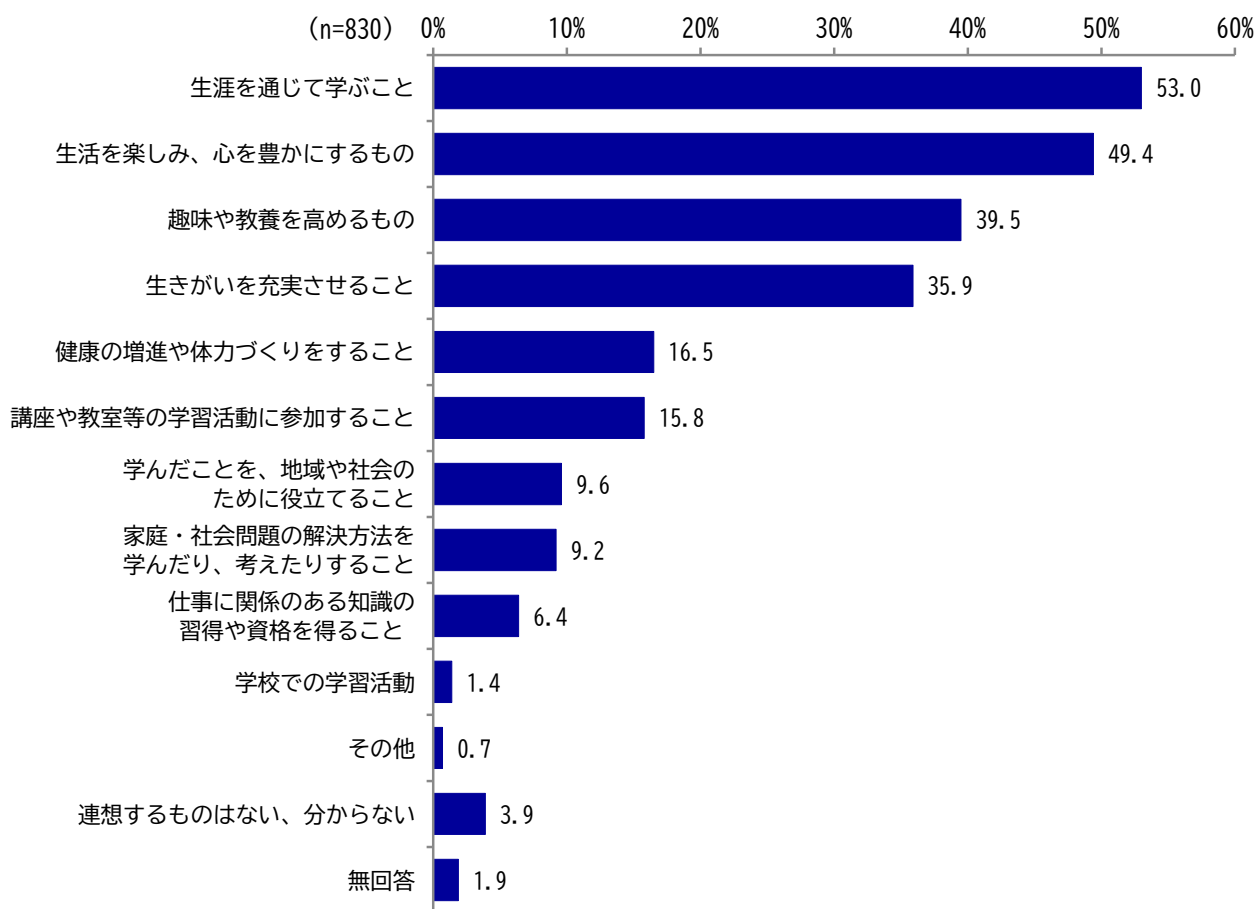


4 生涯学習について

(1) 生涯学習の意義と必要性

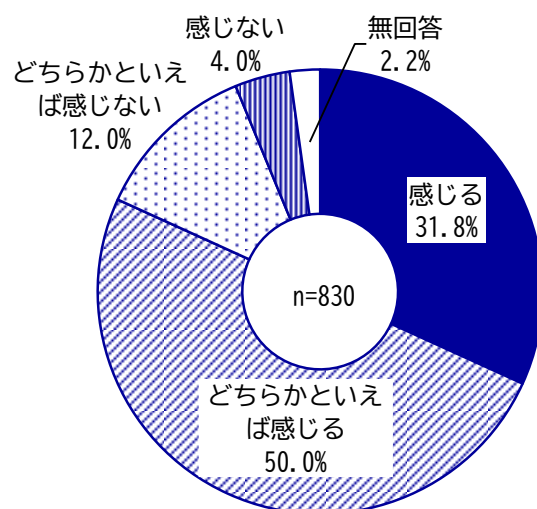
問 19 あなたは、「生涯学習」という言葉から何を連想しますか。(3つまで○)

➤ 「生涯を通じて学ぶこと」が 53.0%で最も高く、次いで「生活を楽しみ、心を豊かにするもの」が 49.4%、「趣味や教養を高めるもの」が 39.5%と続いています。



問 20 あなたは、生涯学習の必要性を感じますか。(1つに○)

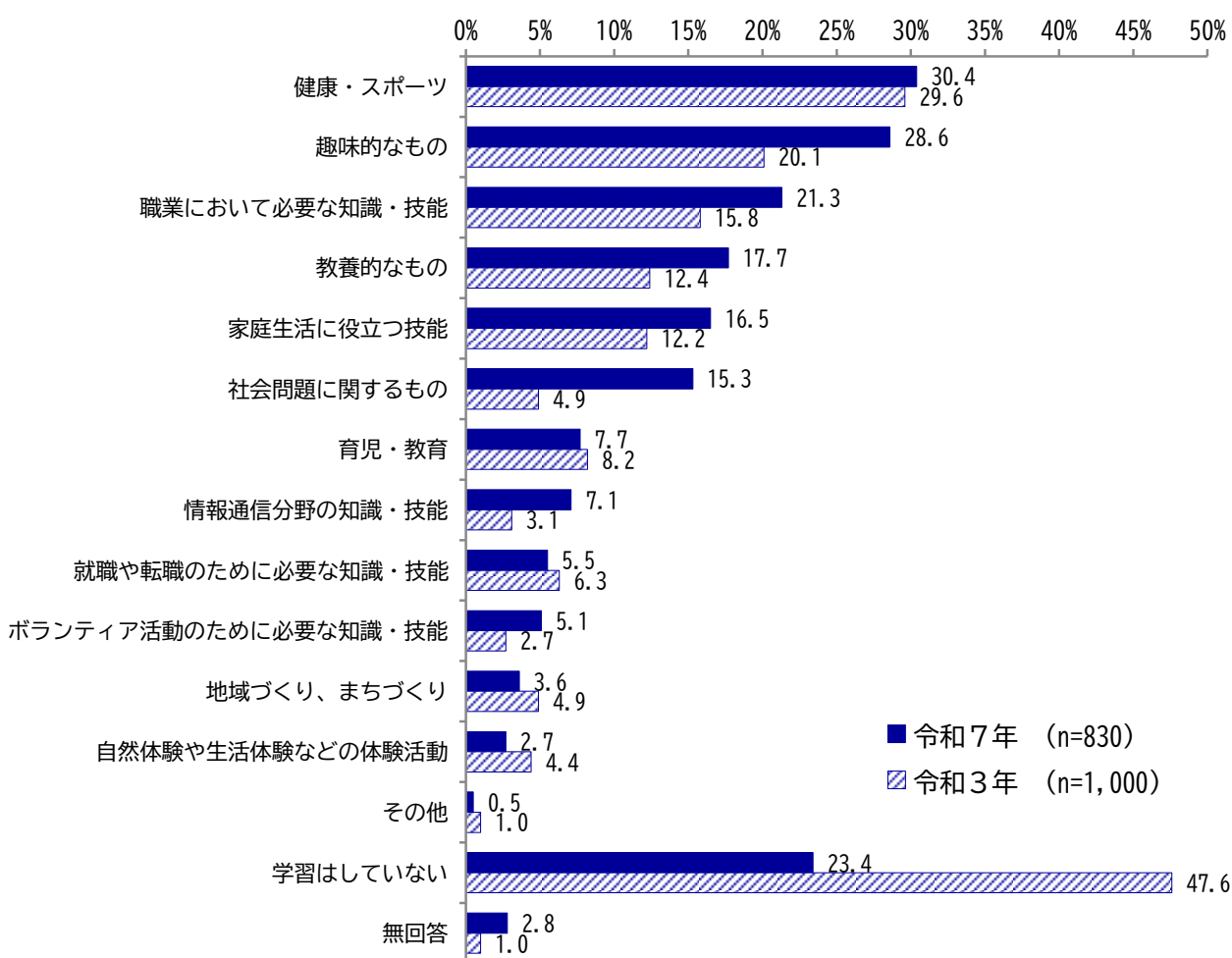
- 「どちらかといえば感じる」が50.0%、「感じる」が31.8%と続いています。
- 「感じる」と「どちらかといえば感じる」の合計は 81.8%、「どちらかといえば感じない」と「感じない」の合計は 16.0%となっており、生涯学習の必要性を感じている人の割合が8割以上を占めています。



(2) 生涯学習の内容

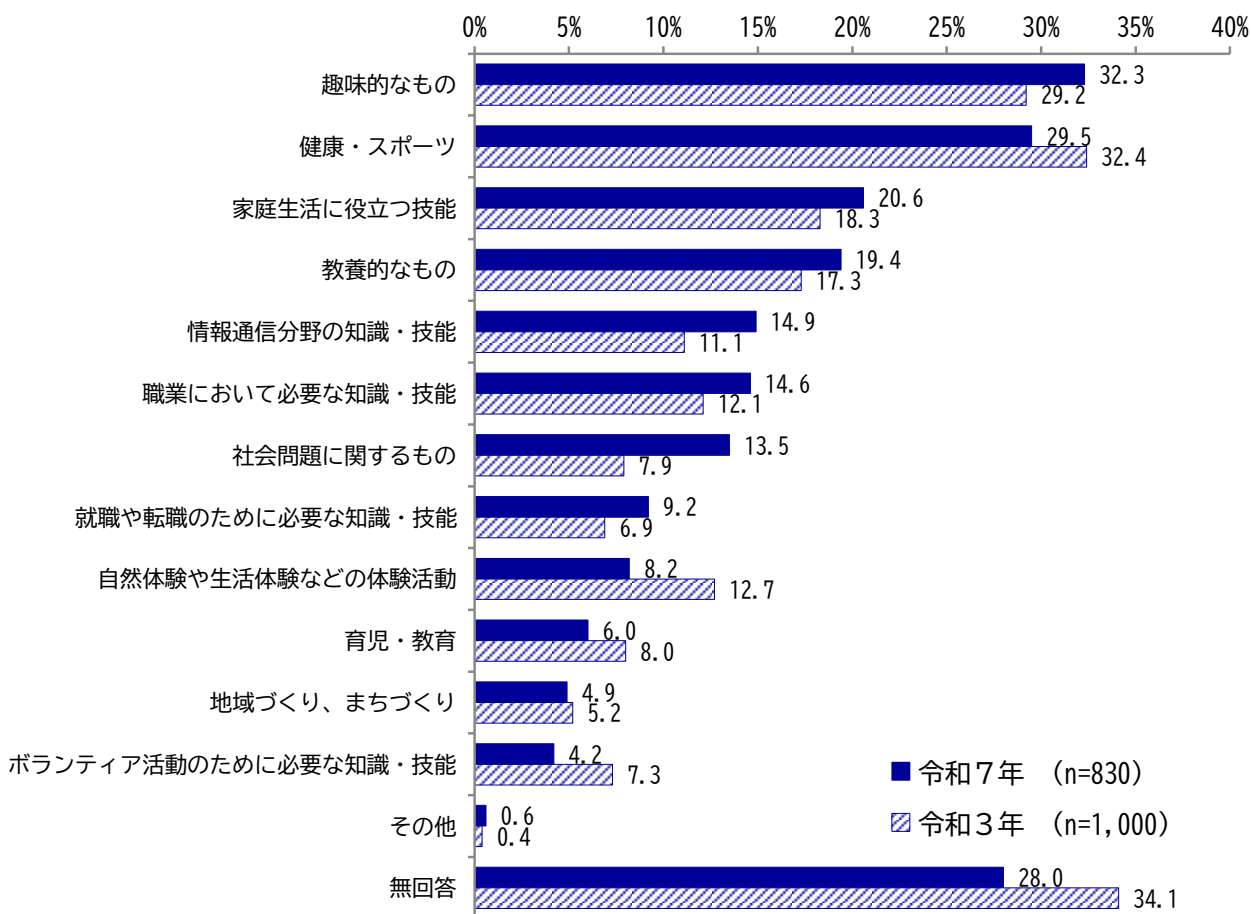
問 21 あなたは、この 1 年間の間に、何を学習しましたか。(月 1 日以上程度) (当てはまるすべてに○)

- 令和7年の調査では、「健康・スポーツ」が 30.4%で最も高く、次いで「趣味的なもの」が 28.6%、「学習はしていない」が 23.4%と続いています。
- 前回調査と比較すると、「学習はしていない」が 24.2 ポイント減少し、生涯学習を行っている人の割合が増加傾向にあります。
- 学習の内容の違いをみると、「趣味的なもの」、「職業において必要な知識・技能」、「教養的なもの」、「社会問題に関するもの」が前回調査時から 5.0 ポイント以上増加しています。



問 22 あなたが今後学習したい内容（継続を含む）を上記から3つまで選んで番号をご記入ください。
※学習したい内容がない場合は無記入

- 「趣味的なもの」が 32.3%で最も高く、次いで「健康スポーツ」が 29.5%、「家庭生活に役立つ技能」が 20.6%と続いています。
- 前回調査と比較すると、「社会問題に関するもの」の増加が目立ちます。一方、「健康・スポーツ」「自然体験や生活体験などの体験活動」などは減少がみられます。

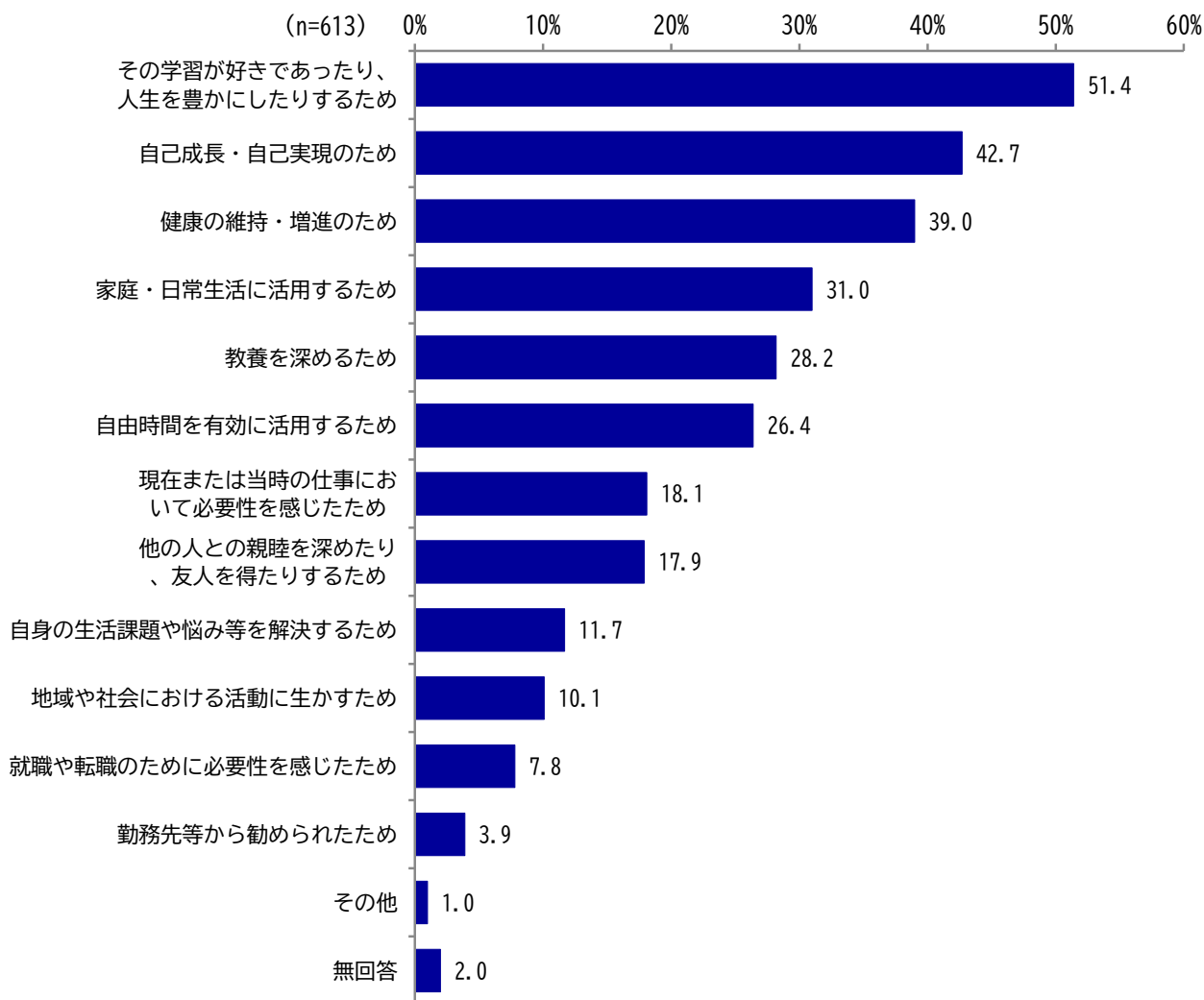


(3) 生涯学習をする目的

問 21 で学習をしている（「学習はしていない」以外）と答えた方におたずねします。

問 23 あなたが学習した（する）目的は何ですか。（当てはまるすべてに○）

- 「その学習が好きであったり、人生を豊かにしたりするため」が 51.4%で最も高く、次いで「自己成長・自己実現のため」が 42.7%、「健康の維持・増進のため」が 39.0%と続いています。

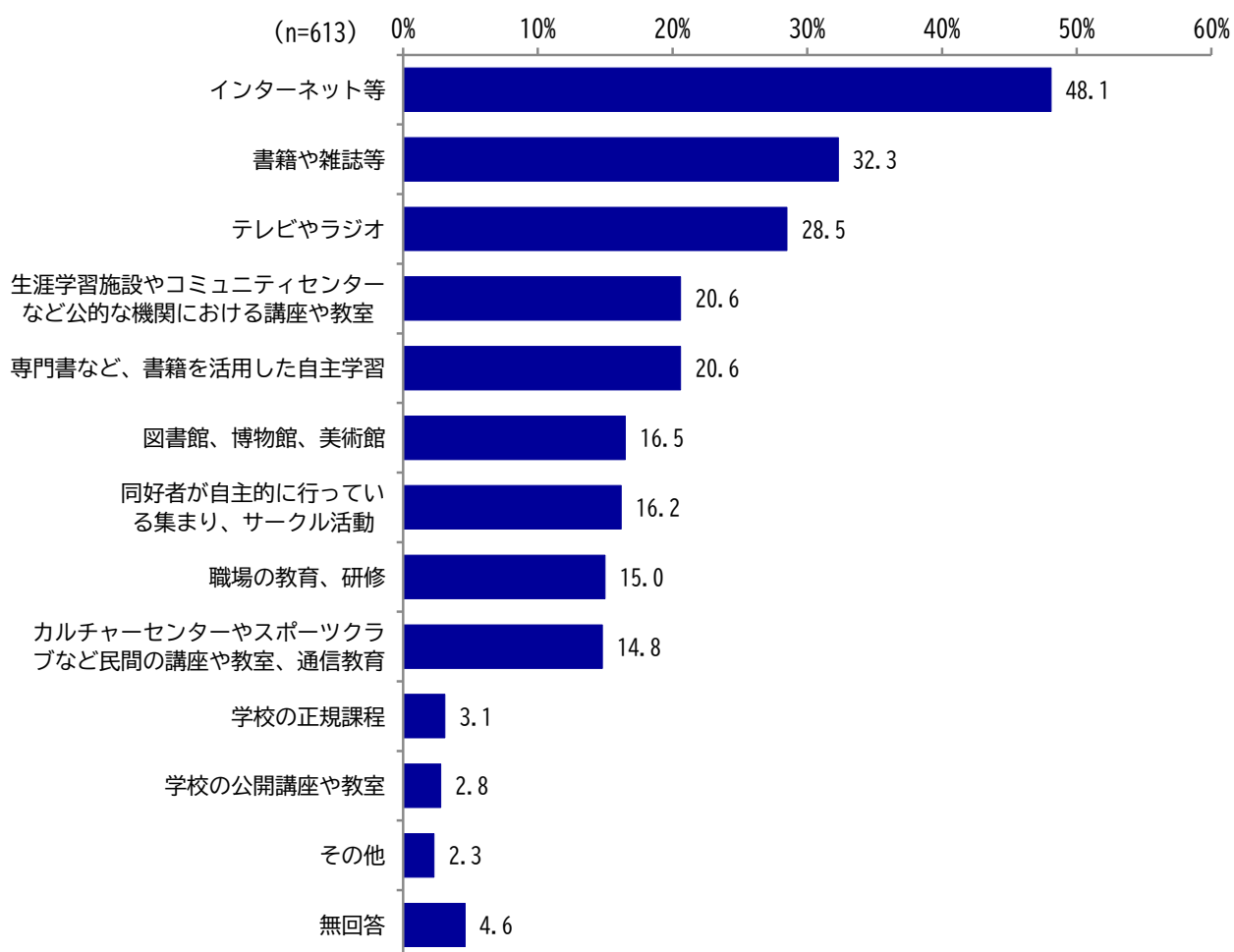


(4) 生涯学習の機会

問 21 で学習している（「学習はしていない」以外）と答えた方におたずねします。

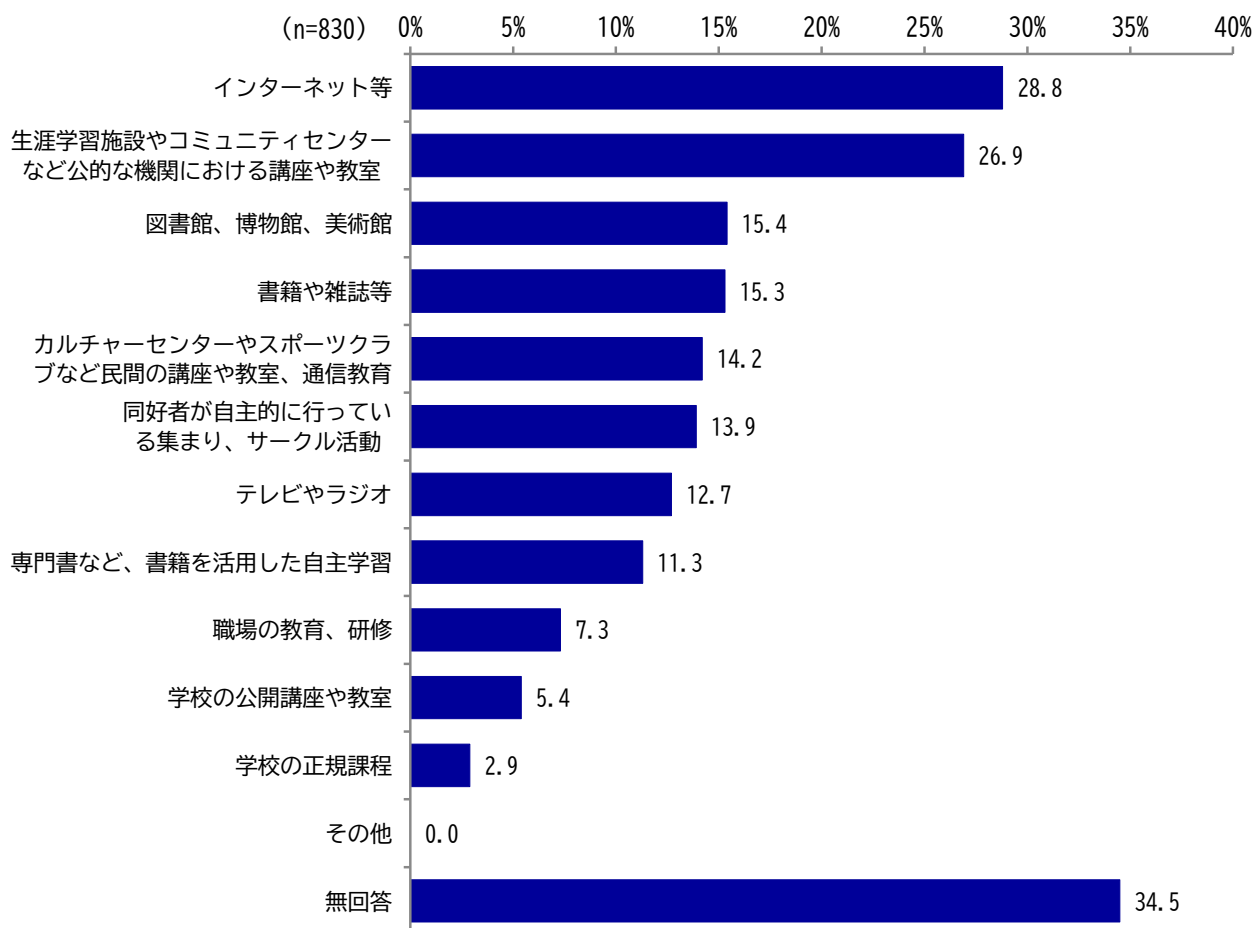
問 24 あなたは、どのような機会を利用して学習していますか。（当てはまるすべてに○）

➤ 「インターネット等」が48.1%で最も高く、次いで「書籍や雑誌等」が32.3%、「テレビやラジオ」が28.5%と続いています。



問 25 あなたは、今後どのような機会を利用して学習したいですか。(継続を含む) 上記から3つまで選んで番号をご記入ください。(※利用したい機会がなければ無記入)

➤ 「インターネット等」が28.8%で最も高く、次いで「書籍や雑誌等」が26.9%、「テレビやラジオ」が15.4%と続いています。

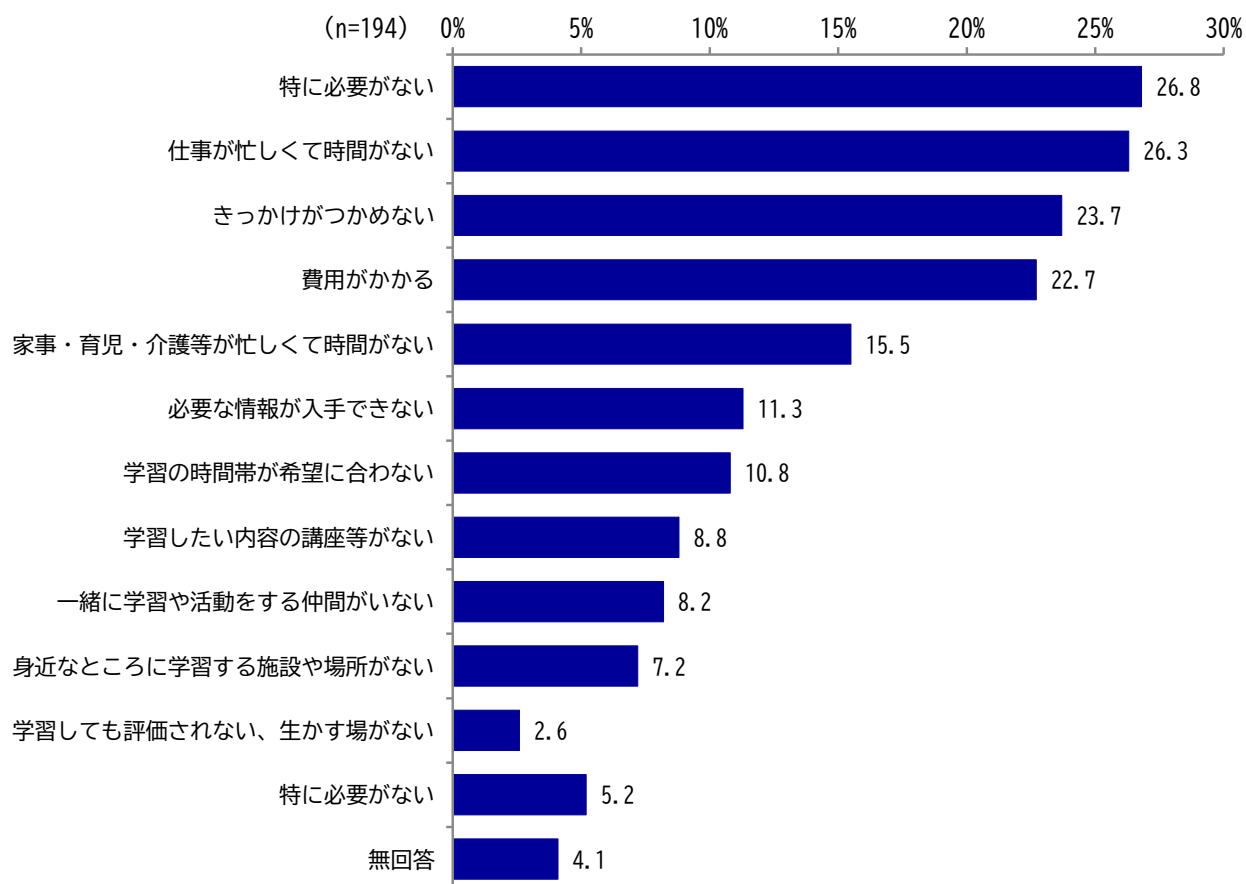


(5) 生涯学習をしていない理由

問 21 で「学習はしていない」と答えた方におたずねします。

問 26 あなたが学習していない理由は何ですか。(当てはまるすべてに○)

- 「特に必要がない」が 26.8%で最も高く、次いで「仕事が忙しくて時間がない」が 26.3%、「きっかけがつかめない」が 23.7%、「費用がかかる」が 22.7%と続いています。



【年齢別】

- 年齢別にみると、10歳代では「きっかけがつかめない」、20～50歳代では「仕事が忙しくて時間がない」、60歳以上では「特に必要がない」がそれぞれ第1位となっています。

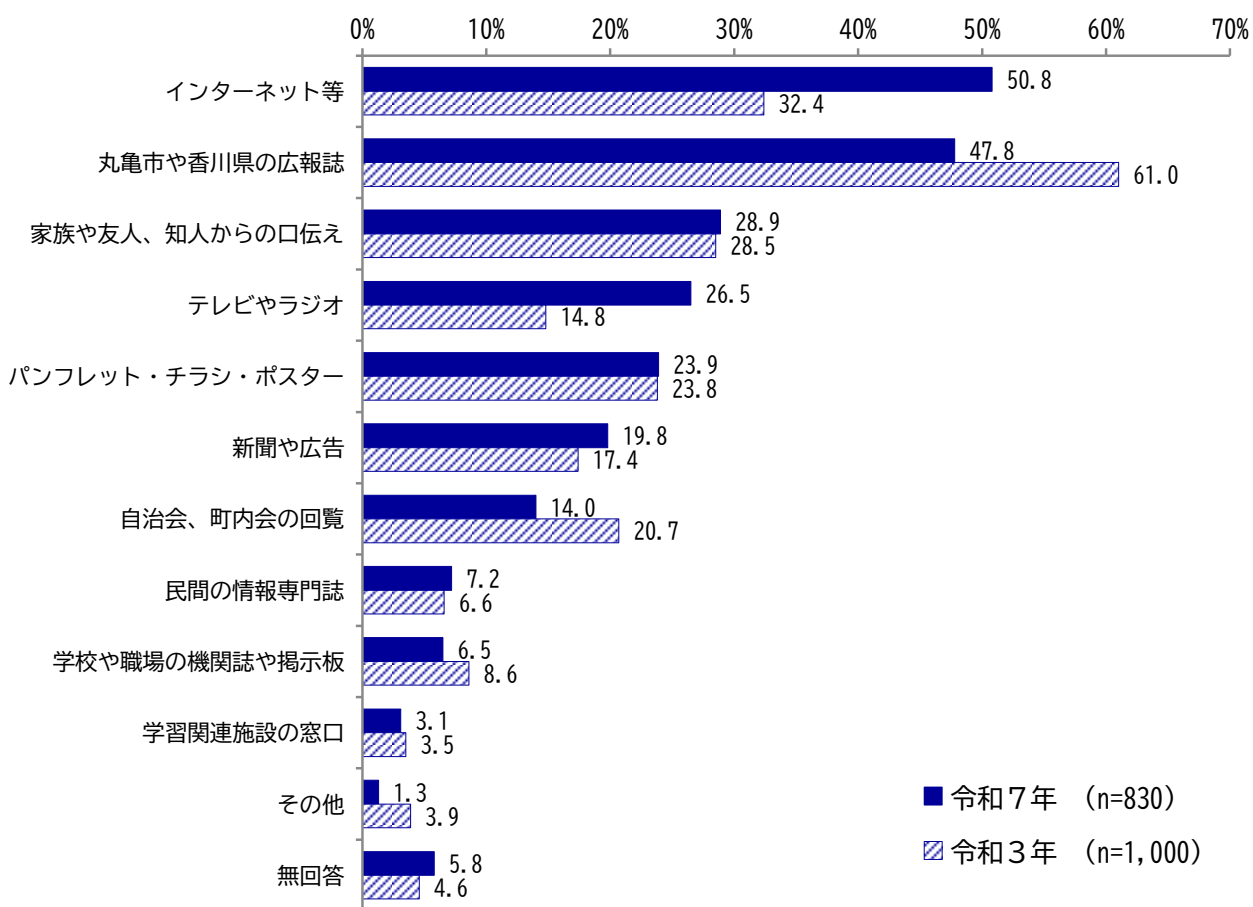
- 20歳代では「必要な情報が入手できない」なども上位にあがっています。

上段:回答数(人) 下段:構成比(%) ※上位3項目に網掛け	全体	が仕事 が忙しくて 時間	いきつ かけがつか めな	費用が かかる	が家事・ 育児・介 護等	必要な 情報が手 で	に学習の 時間帯が 希望	学習した くない内 容の講	一緒に学 習や活動 を	する近 所なと ころに学 習	ない、生 かす場 がな	その他	特に 必要 がな い	無 回 答
全体	194	51	46	44	30	22	21	17	16	14	5	10	52	8
	100.0	26.3	23.7	22.7	15.5	11.3	10.8	8.8	8.2	7.2	2.6	5.2	26.8	4.1
10歳代	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20歳代	8	4	1	3	2	2	1	1	2	1	-	-	2	-
	100.0	50.0	12.5	37.5	25.0	25.0	12.5	12.5	25.0	12.5	-	-	25.0	-
30歳代	15	7	6	8	5	2	2	1	1	-	-	-	1	-
	100.0	46.7	40.0	53.3	33.3	13.3	13.3	6.7	6.7	-	-	-	6.7	-
40歳代	35	13	8	9	10	3	5	4	4	3	1	2	6	-
	100.0	37.1	22.9	25.7	28.6	8.6	14.3	11.4	11.4	8.6	2.9	5.7	17.1	-
50歳代	29	15	5	11	7	6	4	1	1	1	-	1	3	-
	100.0	51.7	17.2	37.9	24.1	20.7	13.8	3.4	3.4	3.4	-	3.4	10.3	-
60歳代	42	7	10	8	3	5	6	5	3	4	1	2	13	1
	100.0	16.7	23.8	19.0	7.1	11.9	14.3	11.9	7.1	9.5	2.4	4.8	31.0	2.4
70歳代	33	4	12	4	3	3	3	4	4	4	2	-	13	1
	100.0	12.1	36.4	12.1	9.1	9.1	9.1	12.1	12.1	12.1	6.1	-	39.4	3.0
80歳以上	29	1	3	1	-	1	-	1	1	1	1	5	13	5
	100.0	3.4	10.3	3.4	-	3.4	-	3.4	3.4	3.4	3.4	17.2	44.8	17.2

(6) 生涯学習に関する情報について

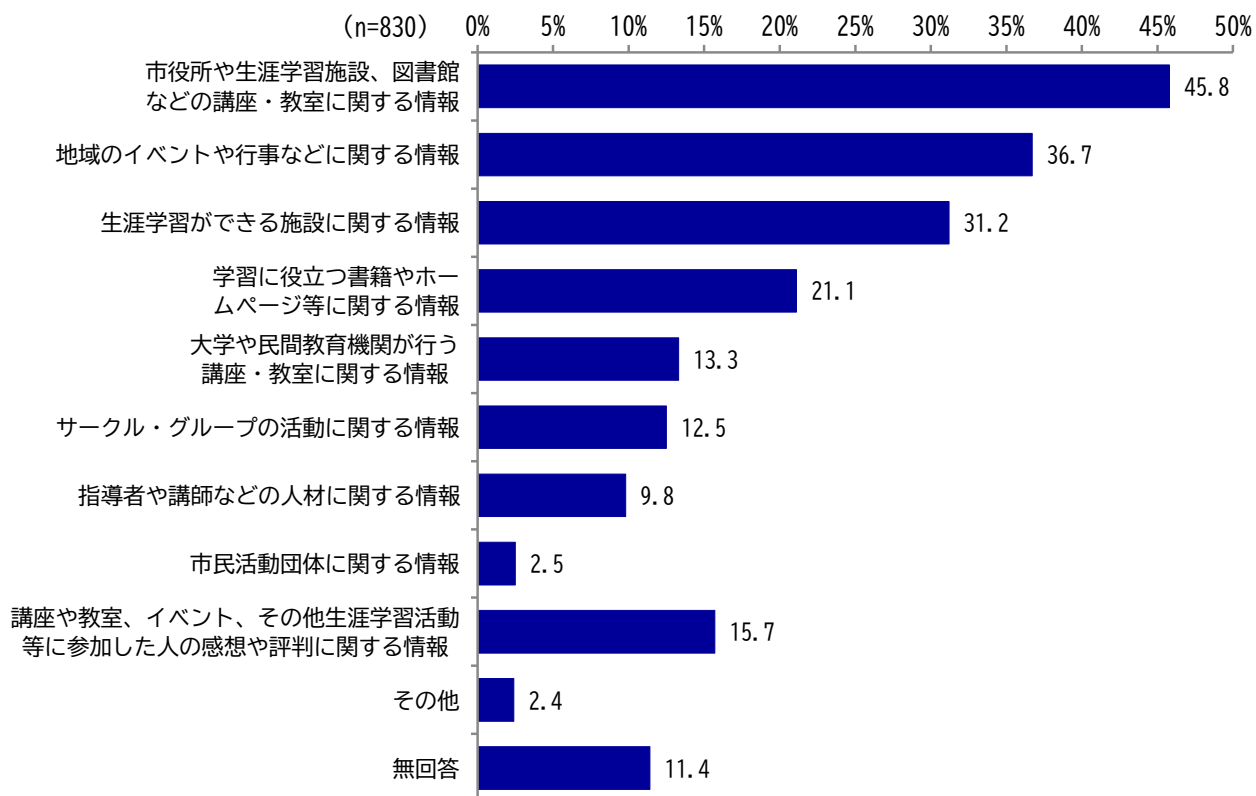
問 27 あなたは、学習に関する情報をどのように得ていますか。(当てはまるすべてに○)

- 「インターネット等」が 50.8%で最も高く、次いで「丸亀市や香川県の広報誌」が 47.8%、「家族や友人、知人からの口伝え」が 28.9%と続いています。
- 前回調査と比較すると、「インターネット等」の増加が目立つ一方で、「丸亀市や香川県の広報誌」の減少も目立っています。



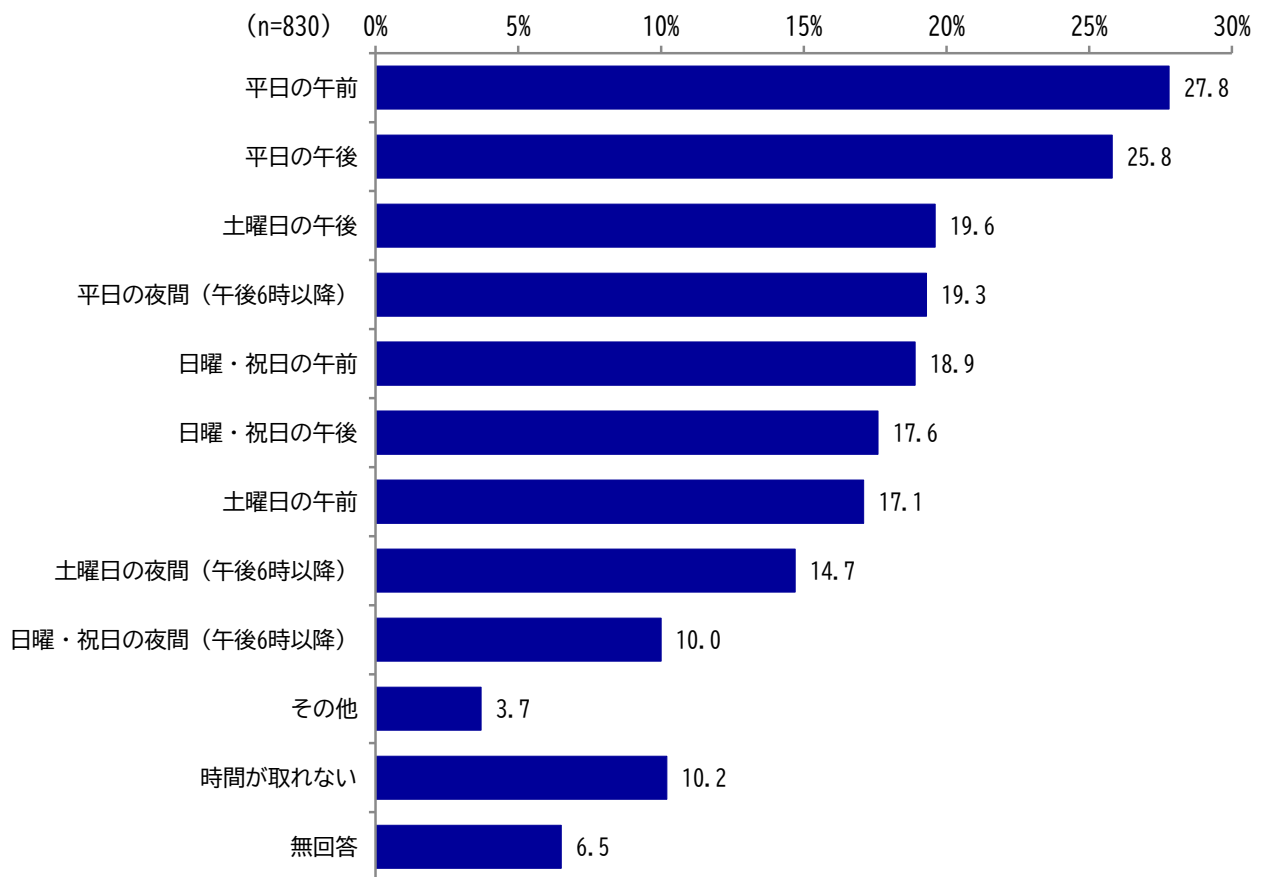
問 28 あなたは、学習に関してどのような情報があったら良いと思われますか。(3つまで○)

- 「市役所や生涯学習施設、図書館などの講座・教室に関する情報」が 45.8%で最も高く、次いで「地域のイベントや行事などに関する情報」が 36.7%、「生涯学習ができる施設に関する情報」が 31.2%と続いています。



問 29 あなたが学習しやすい時間帯はいつですか。（当てはまるすべてに○）

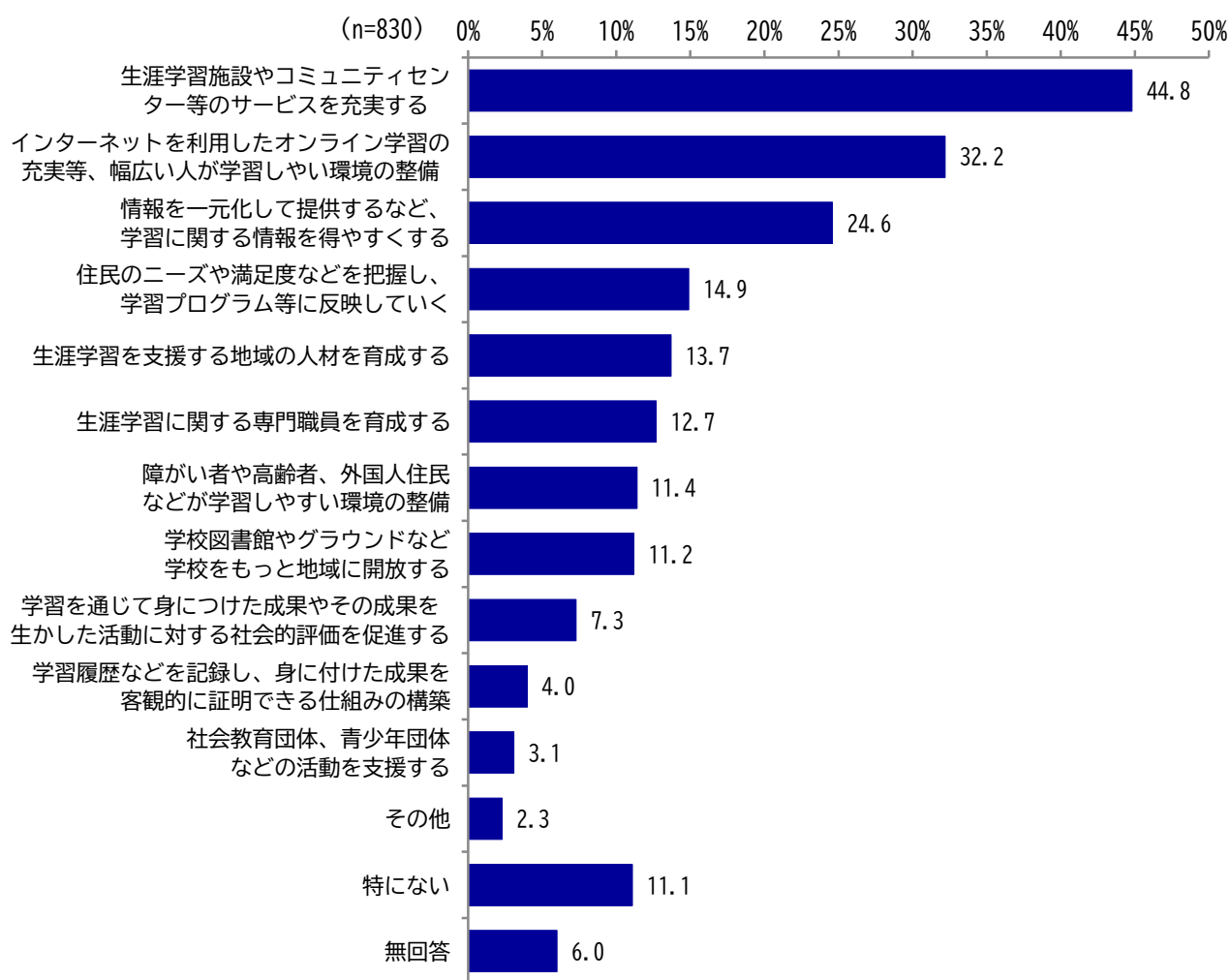
➤ 「平日の午前」が27.8%で最も高く、次いで「平日の午後」が25.8%、「土曜日の午後」が19.6%と続いています。



(7) 生涯学習に関して必要な取り組み

問 30 あなたは、これから丸亀市で生涯学習をもっと盛んにしていくためには、どのような取り組みが大切だと思いますか。(3つまで○)

- 「生涯学習施設やコミュニティセンター等のサービスを充実する」が 44.8%で最も高く、次いで「インターネットを利用したオンライン学習の充実等、幅広い人が学習しやすい環境の整備」が 32.2%、「情報を一元化して提供するなど、学習に関する情報を得やすくする」が 24.6%と続いています。

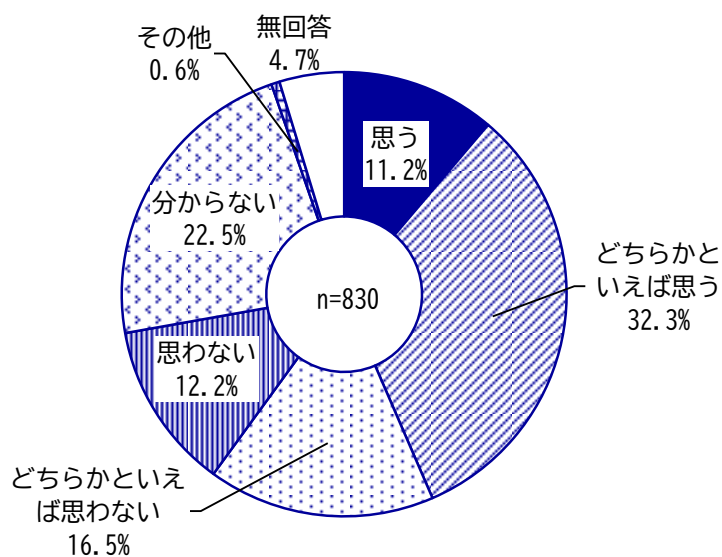


5 地域活動について

(1) 地域社会と生涯学習

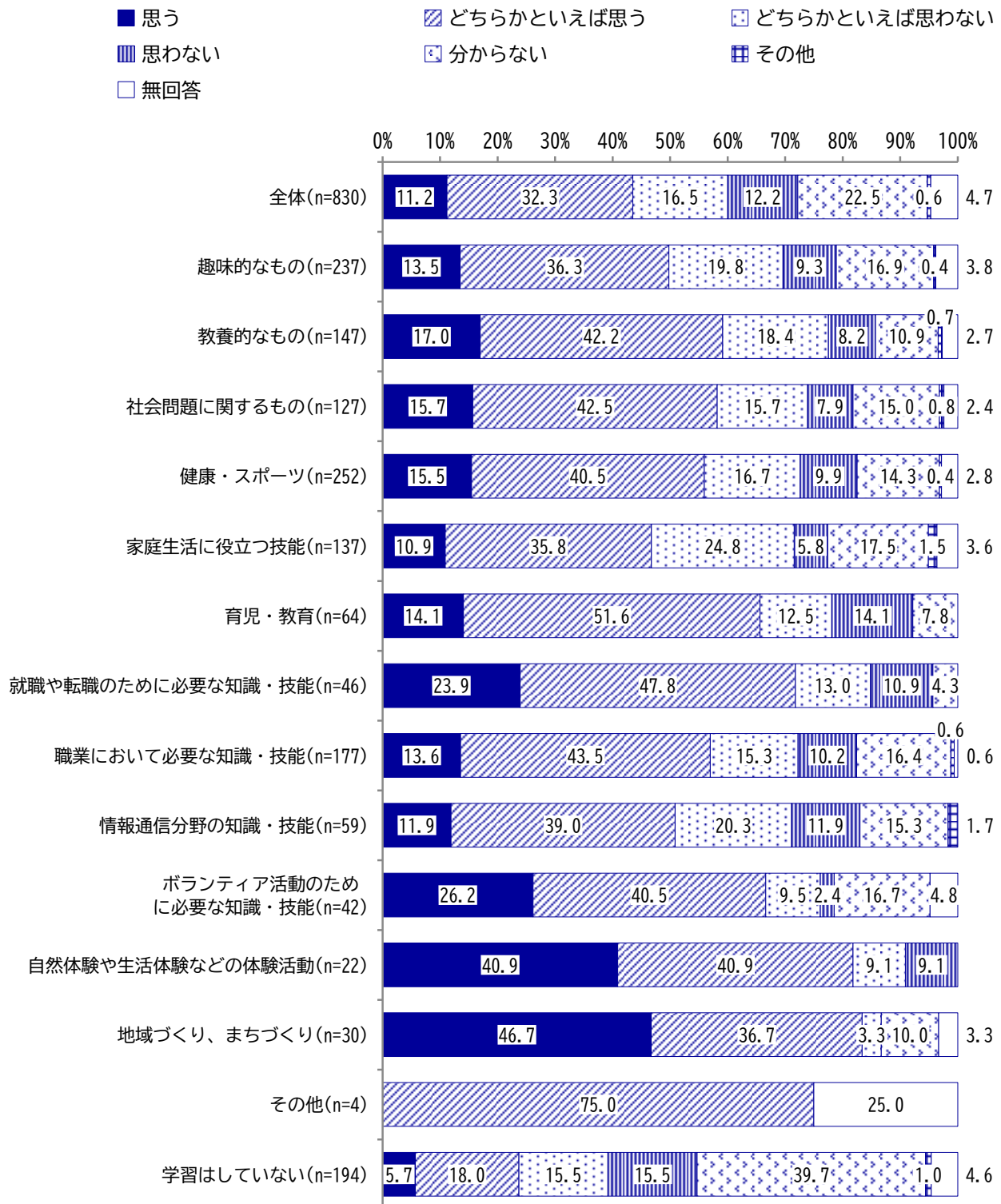
問 31 あなたは、学習の成果を地域社会で生かしたいと思いますか。(1つに○)

- 「どちらかといえば思う」が32.3%で最も高く、次いで「分からない」が22.5%、「どちらかといえば思わない」が16.5%と続いています。
- 「思う」と「どちらかといえば思う」を合わせた『生かしたいと思う』割合は 43.5%、「どちらかといえば思わない」と「思わない」を合わせた『生かしたいと思わない』割合は 28.7%となっており、『生かしたいと思う』割合が上回っています。



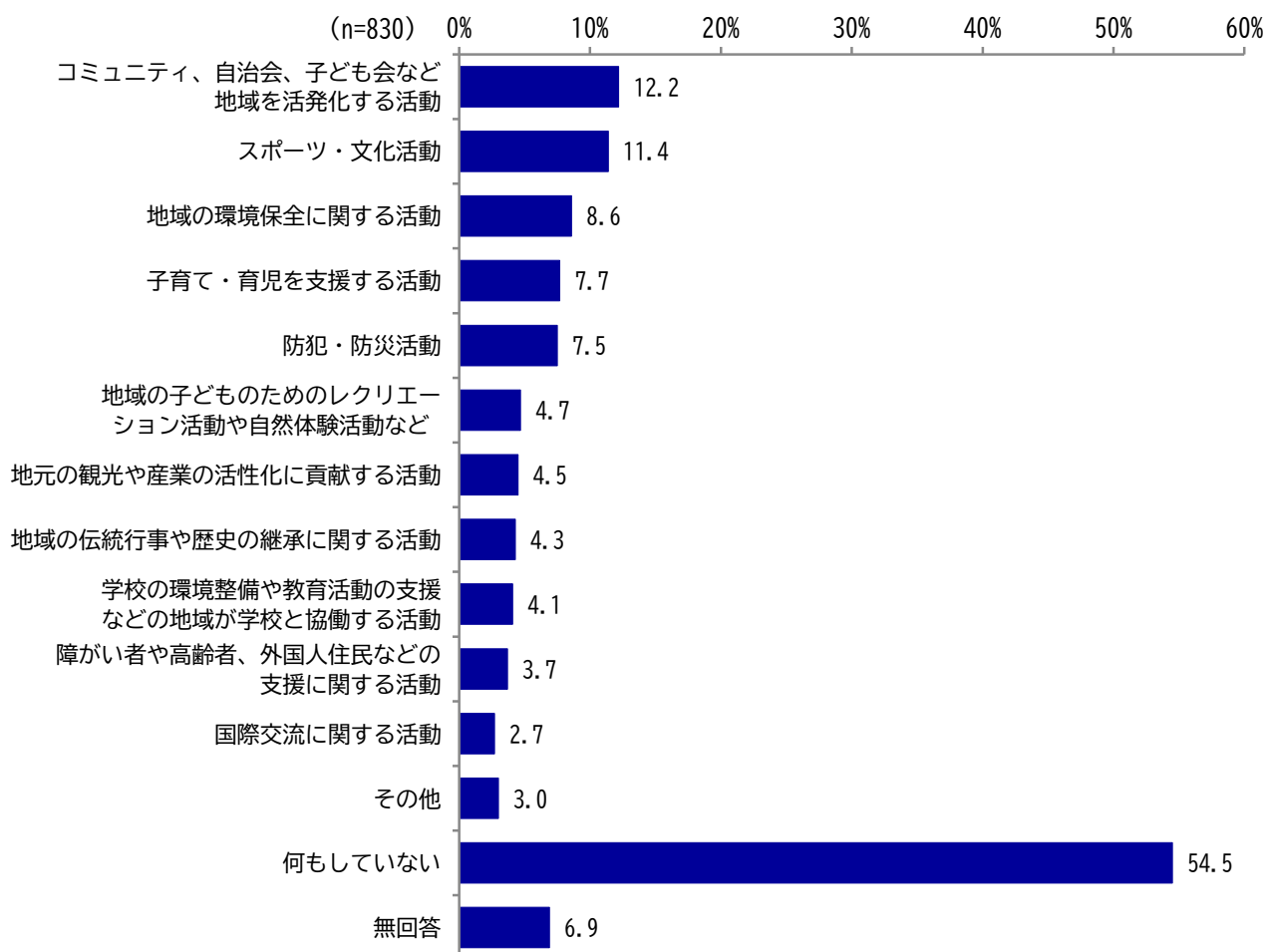
【学習内容別】

- 学習内容別にみると、ほとんどの項目で『生かしたいと思う』割合が半数以上を占めています。中でも自然体験や生活体験などの体験活動、地域づくり、まちづくりを学習した人では8割以上を占め特に高くなっています。



問 32 あなたは、学習の成果をどのような活動で地域社会に生かしていますか。（当てはまるすべてに○）

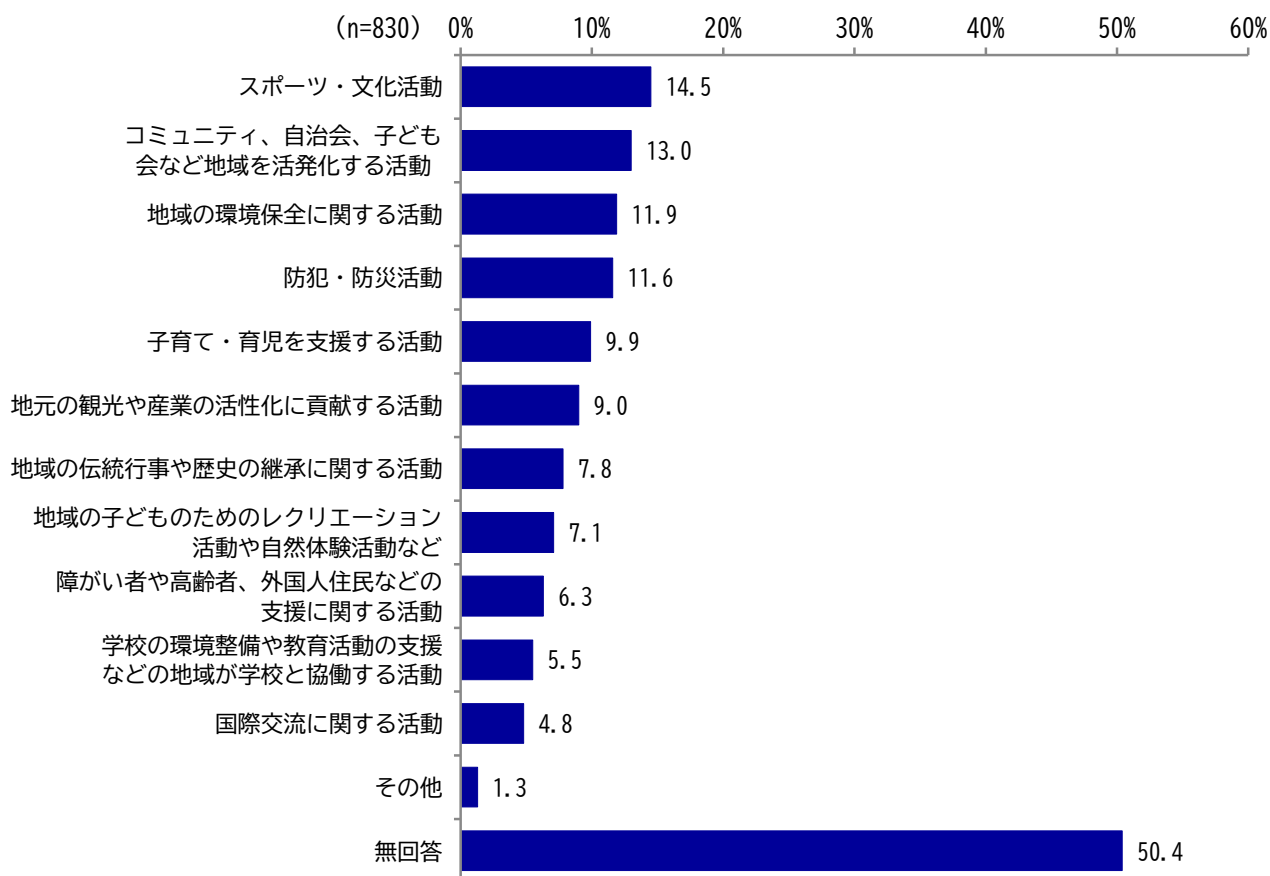
- 全体でみると、主な活動内容としては「コミュニティ、自治会、子ども会など地域を活性化する活動」が 12.2%、「スポーツ・文化活動」が 11.4%、「地域の環境保全に関する活動」が 8.6%と続いています。
- 「何もしていない」は 54.5%となっており、その割合は突出しています。



(2) 地域活動への参加について

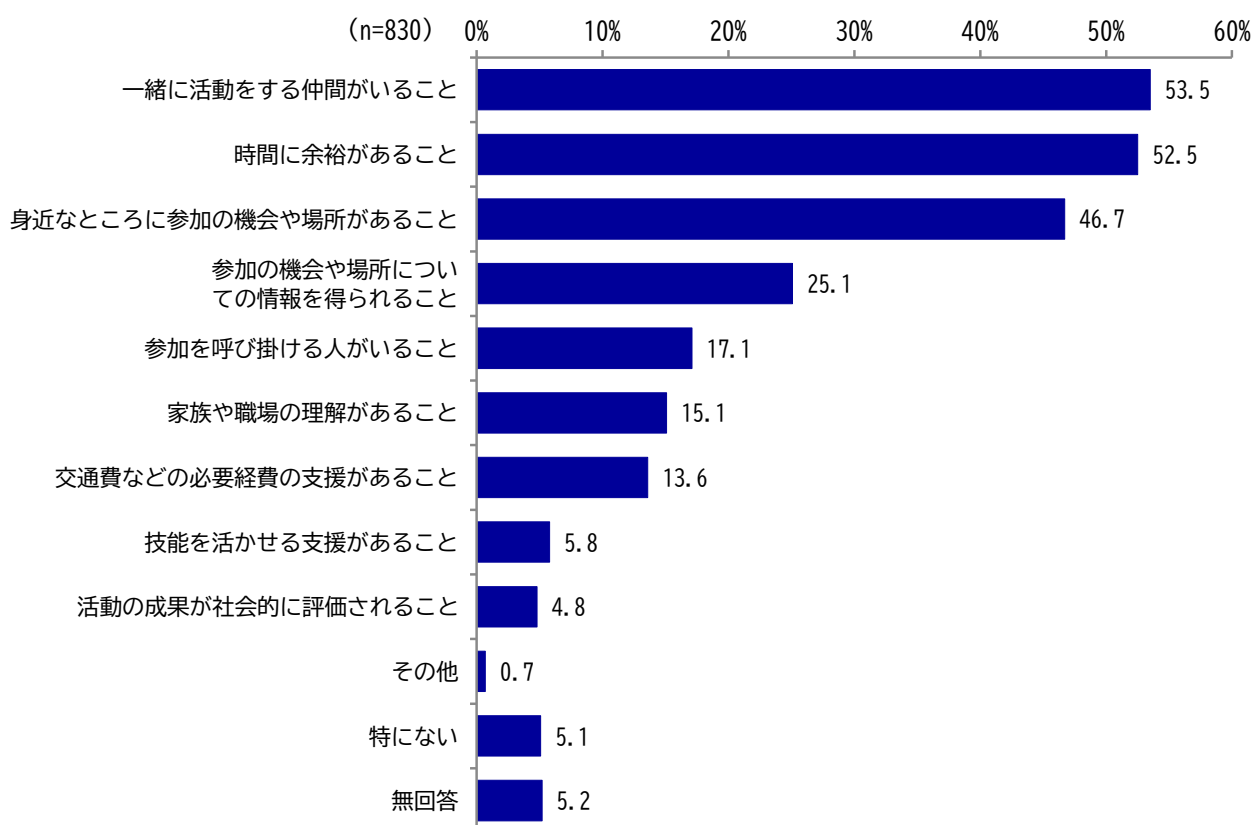
問 33 あなたは、今後どのような地域社会活動に参加したいですか。上記から3つまで選んで番号を記入ください。（※参加したい活動がなければ無記入）

- 「スポーツ・文化活動」が 14.5%で最も高く、次いで「コミュニティ、自治会、子ども会など地域を活性化する活動」が 13.0%、「地域の環境保全に関する活動」が 11.9%と続いています。



問 34 多くの人が地域社会での活動に参加するために必要なことは何ですか。（3つまで○）

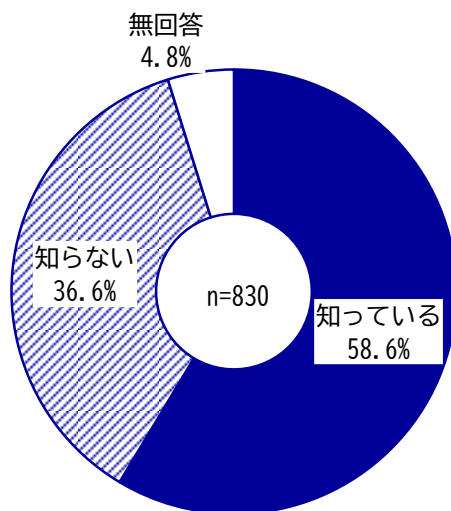
➤ 「一緒に活動をする仲間がいること」が 53.5%で最も高く、次いで「時間に余裕があること」が 52.5%、「身近なところに参加の機会や場所があること」が 46.7%と続いています。



(3) 地域学校協働活動について

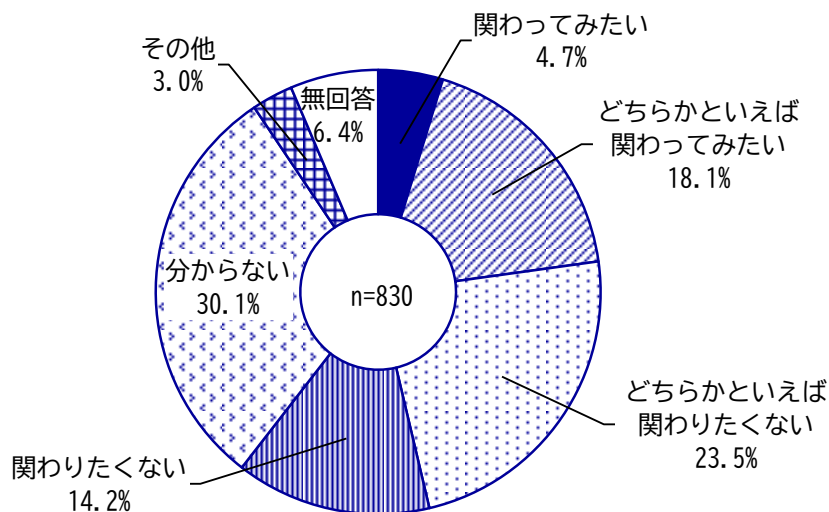
問 35 現在市内では、地域の方が中心となって、学校の子どもの見守りや交流、授業の補助、体験活動、放課後子供教室など、地域と学校が協働する活動（地域学校協働活動）が各小学校区で行われています。あなたは、この活動を知っていますか。（1つに○）

➤ 「知っている」が 58.6%、次いで「知らない」が 36.6%となっています。



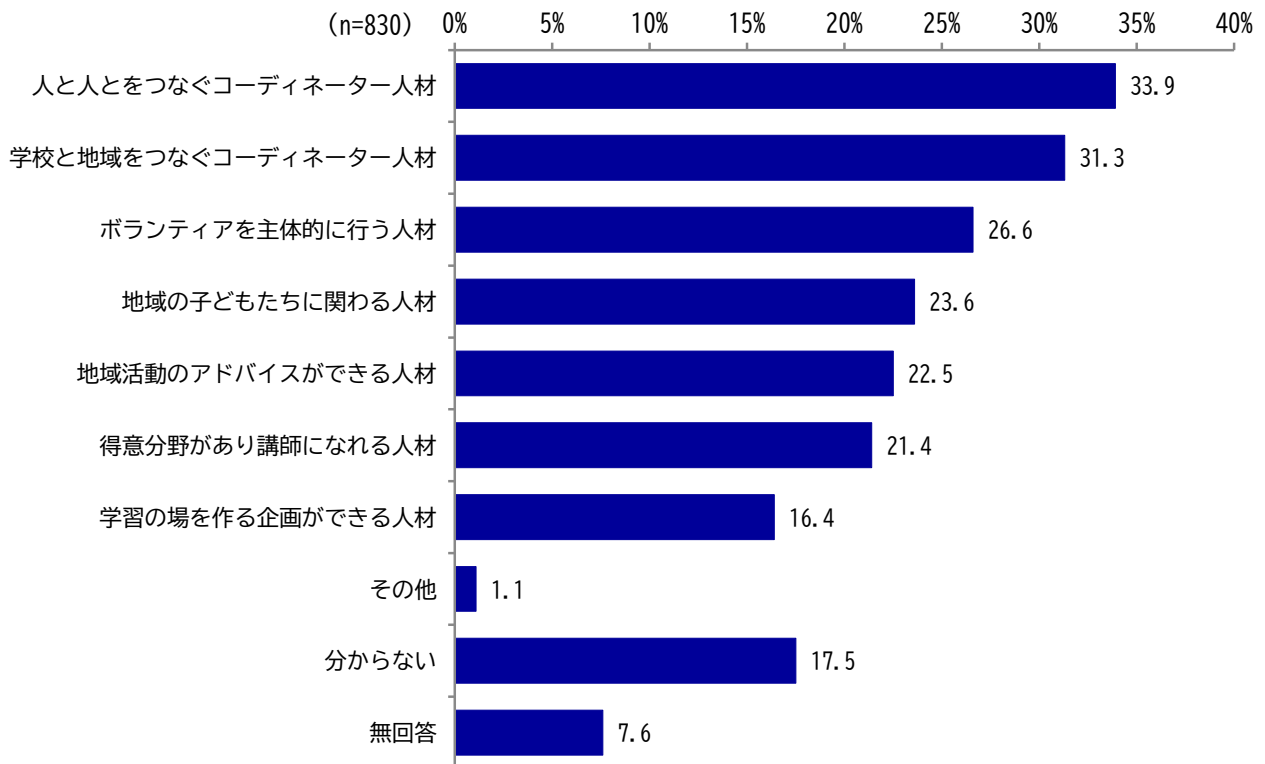
問 36 あなたは、地域学校協働活動に関わってみたいと思いますか。（1つに○）

➤ 「分からない」が 30.1%で最も高く、次いで「どちらかといえば関わりたくない」が 23.5%、「どちらかといえば関わってみたい」が 18.1%と続いています。



問 37 あなたは、地域学校協働活動を盛んにするために、どのような役割の人材が必要と思いますか。
(3つまで○)

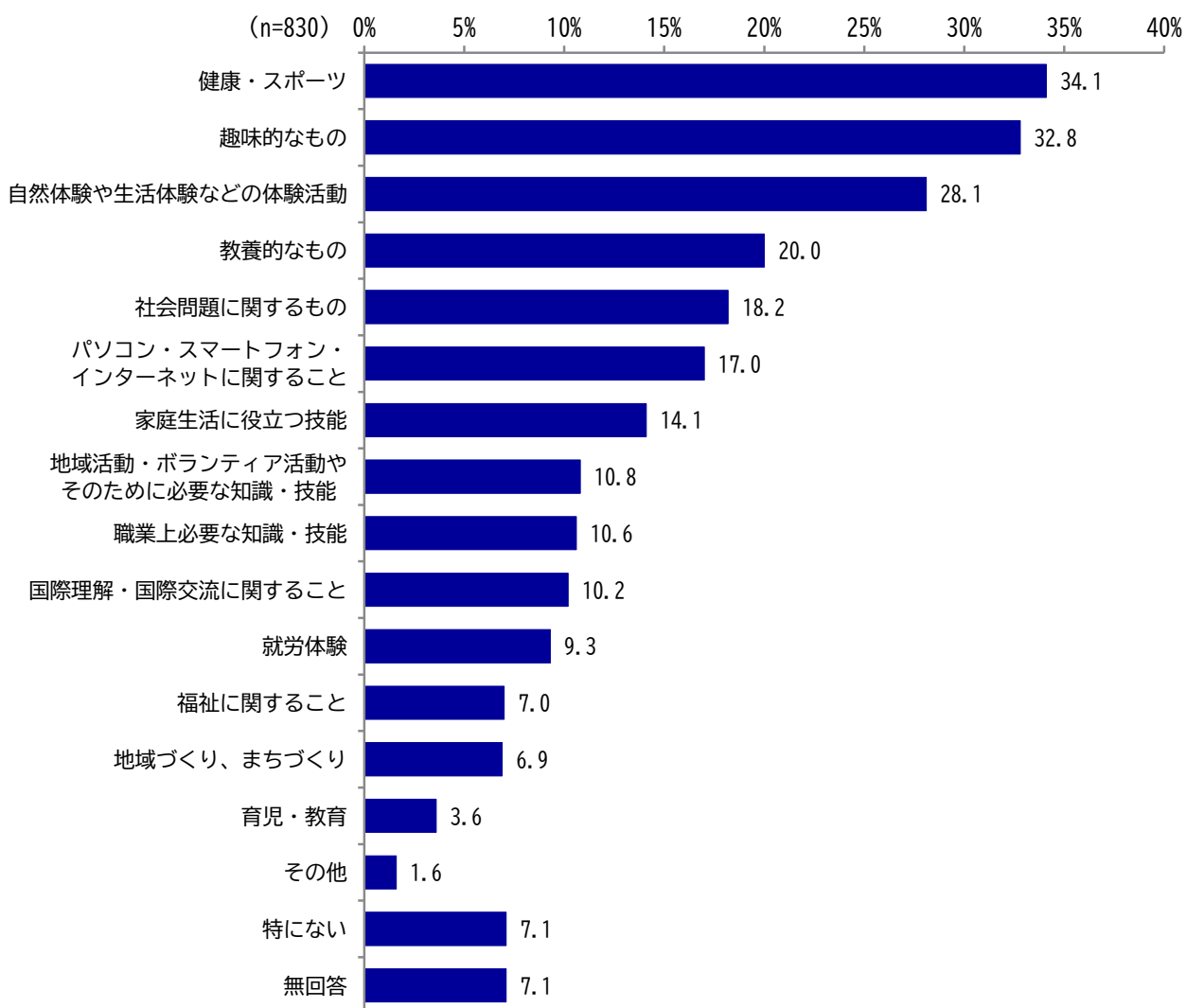
➤ 「人と人をつなぐコーディネーター人材」が 33.9%で最も高く、次いで「学校と地域をつなぐコーディネーター人材」が 31.3%、「ボランティアを主体的に行う人材」が 26.6%と続いています。



(4) 学校以外の子どもの学びたいこと

問 38 あなたは、学校以外で、子どもに特にどんなことを学びたいですか。(3つまで○)

- 「健康・スポーツ」が 34.1%で最も高く、次いで「趣味的なもの」が 32.8%、「自然体験や生活体験などの体験活動」が 28.1%と続いています。

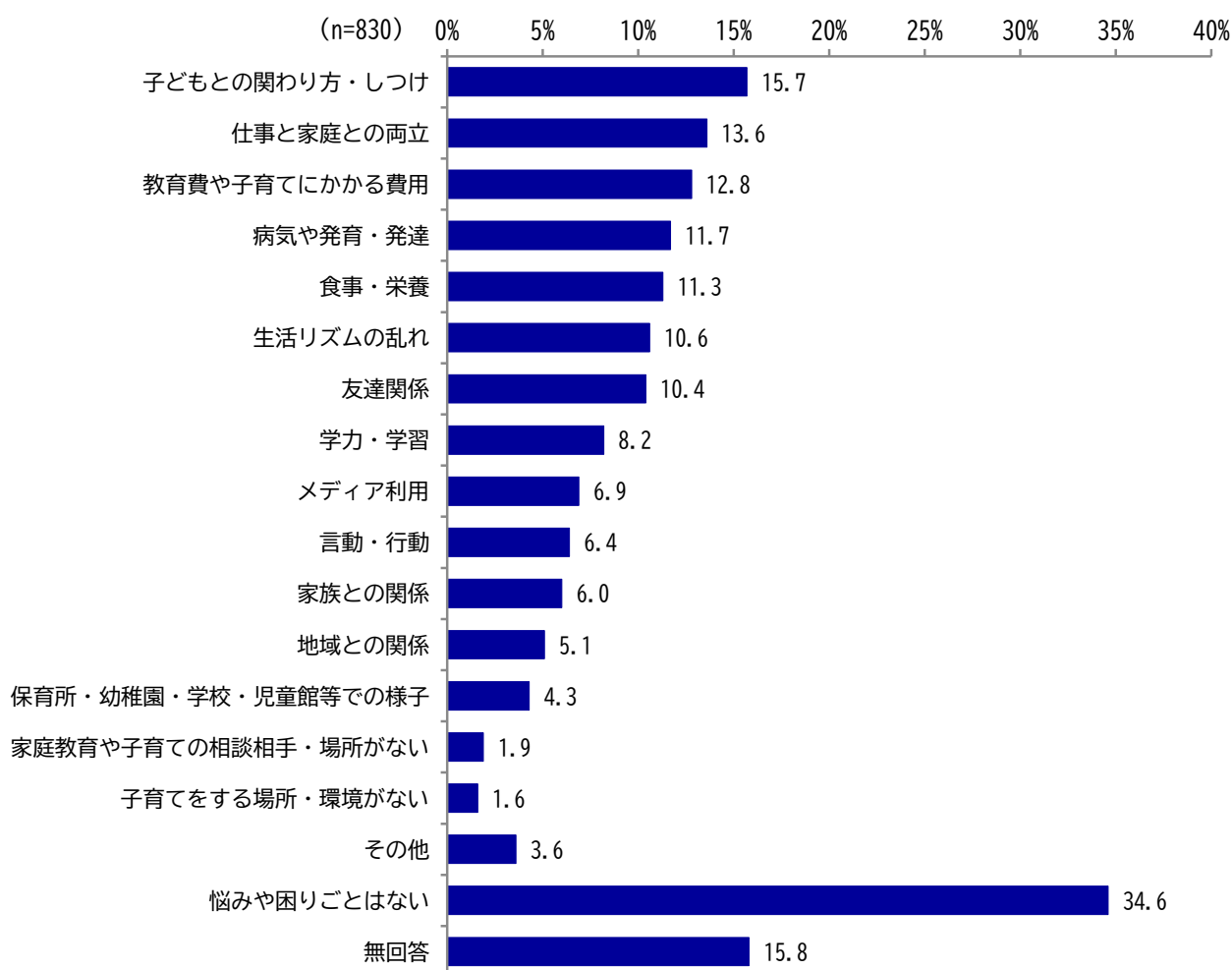


6 家庭教育について

(1) 家庭教育での悩み

問 39 あなたは、家庭教育・子育てについて悩みや困りごとがありますか。(当てはまるすべてに○)

- 「子どもとの関わり方・しつけ」が15.7%、「仕事と家庭との両立」が13.6%、「教育費や子育てにかかる費用」が12.8%と続いています。
- 「悩みや困りごとはない」は34.6%で最も高くなっています。



【年齢別】

- 年齢別にみると、30歳代では「子どもとの関わり方・しつけ」、40歳代では「教育費や子育てにかかる費用」が第1位となっており、それ以外の年齢では「悩みや困りごとはない」が第1位となっています。
- 20～50歳代では「仕事と家庭との両立」、「教育費や子育てにかかる費用」が上位にあがっています。さらに40歳代では「友達関係」、「学力・学習」も上位となっています。
- 60歳以上では「病気や発育・発達」、「食事・栄養」、などが上位にあがっています。

上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%) ※上位3項目に網掛け	全体	子どもとの関わり 方・しつけ	仕事と家庭との両立	教育費や子育てにかかる費用	病気や発育・発達	食事・栄養	生活リズムの乱れ	友達関係	学力・学習	メディア利用	言動・行動	家族との関係	地域との関係	学校・児童・幼稚園・学	相談相手・場所がない	家庭教育や子育ての場所がない	子育てをする場所・環境がない	その他	悩みや困りごとはない	無回答
全体	830 100.0	130 15.7	113 13.6	106 12.8	97 11.7	94 11.3	88 10.6	86 10.4	68 8.2	57 6.9	53 6.4	50 6.0	42 5.1	36 4.3	16 1.9	13 1.6	30 3.6	287 34.6	131 15.8	
10歳代	11 100.0	1 9.1	1 9.1	—	1 9.1	2 18.2	1 9.1	1 9.1	1 9.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8 72.7	—
20歳代	50 100.0	7 14.0	11 22.0	11 22.0	9 18.0	7 14.0	7 14.0	5 10.0	1 2.0	3 6.0	6 12.0	5 10.0	4 8.0	5 10.0	3 6.0	3 6.0	3 6.0	—	21 42.0	1 2.0
30歳代	72 100.0	31 43.1	27 37.5	27 37.5	17 23.6	15 20.8	8 11.1	8 11.1	6 8.3	9 12.5	12 16.7	5 6.9	3 4.2	6 8.3	2 2.8	1 1.4	—	—	17 23.6	—
40歳代	123 100.0	27 22.0	27 22.0	38 30.9	21 17.1	15 12.2	26 21.1	27 22.0	36 29.3	23 18.7	12 9.8	9 7.3	4 3.3	9 7.3	2 1.6	2 1.6	4 3.3	—	27 22.0	3 2.4
50歳代	125 100.0	13 10.4	26 20.8	18 14.4	13 10.4	16 12.8	14 11.2	12 9.6	9 7.2	10 8.0	8 6.4	8 6.4	11 8.8	3 2.4	2 1.6	2 1.6	4 3.2	—	57 45.6	3 2.4
60歳代	169 100.0	21 12.4	10 5.9	6 3.6	17 10.1	15 8.9	10 5.9	12 7.1	8 4.7	5 3.0	5 3.0	10 5.9	10 5.9	4 2.4	6 3.6	2 1.2	2 3.0	—	72 42.6	26 15.4
70歳代	168 100.0	19 11.3	7 4.2	4 2.4	12 7.1	20 11.9	17 10.1	14 8.3	6 3.6	7 4.2	7 4.2	9 5.4	7 4.2	6 3.6	1 0.6	3 1.8	9 5.4	—	52 31.0	52 31.0
80歳以上	107 100.0	10 9.3	4 3.7	2 1.9	7 6.5	3 2.8	4 3.7	6 5.6	1 0.9	—	3 2.8	3 2.8	3 2.8	3 2.8	—	—	—	6.5 30.8	33 42.1	45 42.1

【世帯構成別】

- 世帯構成別にみると、親と子と孫の3世代世帯では「子どもとの関わり方・しつけ」が第1位となっています。それ以外の世帯構成では「悩みや困りごとはない」が第1位となっており、いずれも3割以上となっています。
- 1人世帯では「生活リズムの乱れ」、夫婦だけの1世代世帯では「病気や発育・発達」、親と子の2世代世帯では「教育費や子育てにかかる費用」なども上位にあがっています。

上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%) ※上位3項目に網掛け	全体	子どもとの関わり 方・しつけ	仕事と家庭との両立	教育費や子育てにかかる費用	病気や発育・発達	食事・栄養	生活リズムの乱れ	友達関係	学力・学習	メディア利用	言動・行動	家族との関係	地域との関係	学校・児童館等での様子	相談相手・場所がない	家庭教育や子育ての場所がない	子育てをする場所・環境がない	その他	悩みや困りごとはない	無回答
全体	830 100.0	130 15.7	113 13.6	106 12.8	97 11.7	94 11.3	88 10.6	86 10.4	68 8.2	57 6.9	53 6.4	50 6.0	42 5.1	36 4.3	16 1.9	13 1.6	30 3.6	287 34.6	131 15.8	
1人世帯	104 100.0	9 8.7	4 3.8	3 2.9	7 6.7	7 6.7	8 7.7	5 4.8	— —	2 1.9	3 2.9	4 3.8	2 1.9	3 2.9	1 1.0	— —	— —	5 4.8	40 38.5	30 28.8
夫婦だけの1世代世帯	278 100.0	34 12.2	24 8.6	24 8.6	27 9.7	25 9.0	19 6.8	20 7.2	16 5.8	7 2.5	13 4.7	16 5.8	14 5.0	11 4.0	3 1.1	4 1.4	14 5.0	— —	115 41.4	54 19.4
親と子の2世代世帯	357 100.0	60 16.8	70 19.6	68 19.0	50 14.0	53 14.8	48 13.4	50 14.0	44 12.3	39 10.9	29 8.1	21 5.9	23 6.4	17 4.8	12 3.4	8 2.2	9 2.5	— —	107 30.0	36 10.1
親と子と孫の3世代世帯	58 100.0	21 36.2	12 20.7	8 13.8	9 15.5	4 6.9	6 10.3	5 8.6	6 10.3	7 12.1	5 8.6	5 8.6	1 1.7	5 8.6	— —	— —	— —	1 1.7	14 24.1	8 13.8
上記外で同居している人がある	22 100.0	4 18.2	3 13.6	3 13.6	2 9.1	3 13.6	4 18.2	3 13.6	2 9.1	2 9.1	2 9.1	2 9.1	2 9.1	— —	— —	1 4.5	— —	— —	9 40.9	1 4.5

【家族の特性別】

- ▶ 家族の特性別にみると、小学生以下の子どもがいる家庭では「子どもとの関わり方・しつけ」、中学生・高校生がいる家庭では「教育費や子育てにかかる費用」が第1位となっています。
- ▶ 65歳以上の人、介護を必要とする人、障がい者、上記以外でケアを必要とする人がある家庭、いずれもない家庭では「悩みや困りごとはない」が第1位となっています。
- ▶ 小学生がいる家庭では「友達関係」、中学生・高校生がいる家庭では「学力・学習」、65歳以上の人がある家庭では「病気や発育・発達」、「食事・栄養」も上位にあがっています。

上段：回答数(人) 下段：構成比(%) ※上位3項目に網掛け	全体	子どもとの関わり	仕事と家庭との両立	教育費や子育てにかかる費用	病気や発育・発達	食事・栄養	生活リズムの乱れ	友達関係	学力・学習	メディア利用	言動・行動	家族との関係	地域との関係	学校・児童・青少年・学	い相談相手・教育や場所がな	環境が育をする場所・	その他	い悩みや困りごとはない	無回答
全体	830 100.0	130 15.7	113 13.6	106 12.8	97 11.7	94 11.3	88 10.6	86 10.4	68 8.2	57 6.9	53 6.4	50 6.0	42 5.1	36 4.3	16 1.9	13 1.6	30 3.6	287 34.6	131 15.8
乳児(1歳未満)	20 100.0	12 60.0	8 40.0	8 40.0	9 45.0	6 30.0	2 10.0	1 5.0	2 10.0	2 10.0	3 15.0	2 10.0	—	—	—	—	—	—	—
小学校入学前の幼児	66 100.0	32 48.5	23 34.8	25 37.9	17 25.8	14 21.2	11 16.7	14 21.2	16 24.2	13 19.7	15 22.7	4 6.1	3 4.5	13 19.7	3 4.5	3 4.5	1 1.5	5 7.6	1 1.5
小学生	92 100.0	30 32.6	28 30.4	26 28.3	14 15.2	16 17.4	20 21.7	28 30.4	25 27.2	27 29.3	13 14.1	4 4.3	3 3.3	12 13.0	2 2.2	2 2.2	1 1.1	9 9.8	3 3.3
中学生・高校生	101 100.0	28 27.7	31 30.7	41 40.6	17 16.8	18 17.8	24 23.8	18 17.8	30 29.7	18 17.8	11 10.9	9 8.9	6 5.9	6 5.9	3 3.0	1 1.0	2 2.0	15 14.9	4 4.0
65歳以上の人	434 100.0	54 12.4	29 6.7	20 4.6	38 8.8	38 8.8	35 8.1	33 7.6	17 3.9	16 3.7	16 3.7	21 4.8	14 3.2	15 3.5	4 0.9	6 1.4	20 4.6	156 35.9	111 25.6
介護を必要とする人	52 100.0	6 11.5	3 5.8	1 1.9	8 15.4	4 7.7	4 7.7	6 11.5	3 5.8	3 5.8	1 1.9	1 1.9	3 5.8	1 1.9	—	2 3.8	1 1.9	18 34.6	12 23.1
障がい者	60 100.0	9 15.0	6 10.0	4 6.7	12 20.0	6 10.0	5 8.3	5 8.3	3 5.0	2 3.3	3 5.0	4 6.7	3 5.0	4 6.7	3 5.0	2 3.3	1 1.7	16 26.7	15 25.0
いずれもない	195 100.0	18 9.2	24 12.3	19 9.7	20 10.3	16 8.2	17 8.7	13 6.7	8 4.1	7 3.6	12 6.2	16 8.2	14 7.2	3 1.5	5 2.6	2 1.0	5 2.6	106 54.4	7 3.6
上記以外でケアを必要とする人	22 100.0	4 18.2	3 13.6	3 13.6	3 13.6	3 13.6	2 9.1	2 9.1	1 4.5	1 4.5	1 4.5	2 9.1	1 4.5	3 13.6	—	—	2 9.1	8 36.4	1 4.5

※上記以外でケアを必要とする人＝介護を必要とする人または障がい者以外でケアを必要とする人のこと。

【経済状況別】

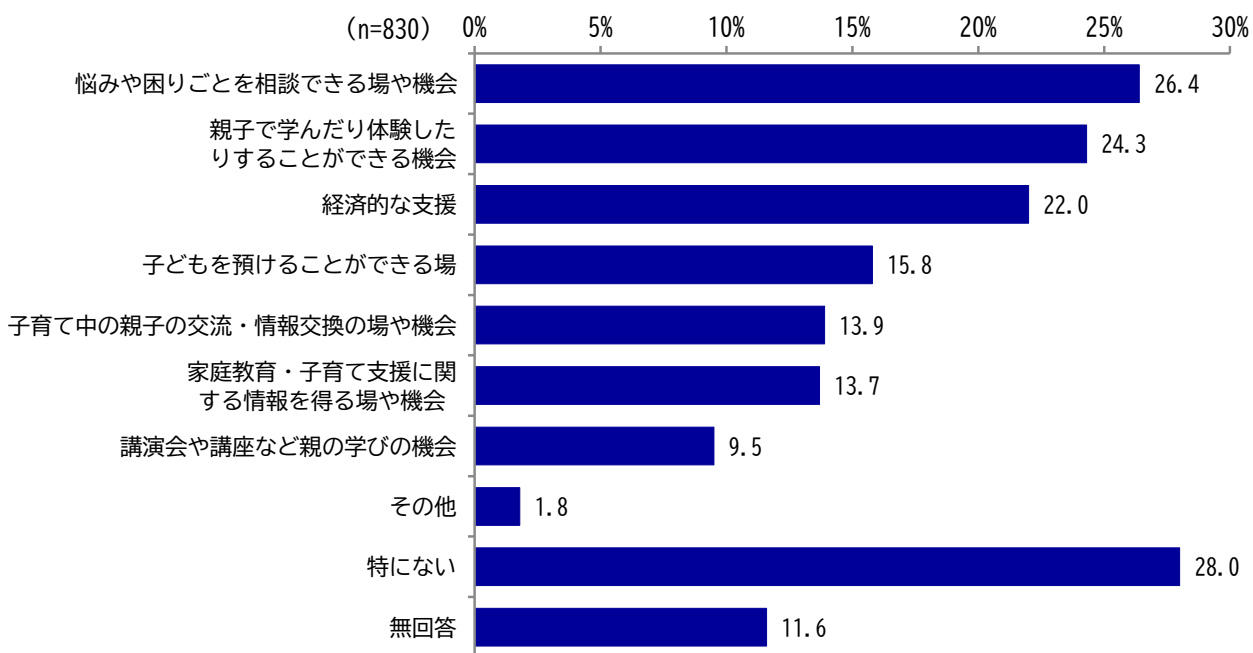
- ▶ 経済状況別にみると、ややゆとりがある、普通、やや苦しい、大変苦しいでは「悩みや困りごとはない」が第1位となっていますが、やや苦しい、大変苦しいでは3割未満となっています。
- ▶ ややゆとりがあるでは「仕事と家庭との両立」、「友達関係」、やや苦しいでは「子どもとの関わり方・しつけ」、「教育費や子育てにかかる費用」、大変苦しいでは同じく「教育費や子育てにかかる費用」、「生活のリズムの乱れ」が上位にあがっています。

上段：回答数(人) 下段：構成比(%) ※上位3項目に網掛け	全体	子どもとの関わり	仕事と家庭との両立	教育費や子育てにかかる費用	病気や発育・発達	食事・栄養	生活リズムの乱れ	友達関係	学力・学習	メディア利用	言動・行動	家族との関係	地域との関係	学校・児童・青少年・学	い相談相手・教育や場所がな	環境が育をする場所・	その他	い悩みや困りごとはない	無回答
全体	830 100.0	130 15.7	113 13.6	106 12.8	97 11.7	94 11.3	88 10.6	86 10.4	68 8.2	57 6.9	53 6.4	50 6.0	42 5.1	36 4.3	16 1.9	13 1.6	30 3.6	287 34.6	131 15.8
大変ゆとりがある	12 100.0	3 25.0	1 8.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ややゆとりがある	75 100.0	8 10.7	11 14.7	5 6.7	8 10.7	2 2.7	7 9.3	9 12.0	7 9.3	6 8.0	5 6.7	5 6.7	5 6.7	2 2.7	—	2 2.7	2 2.7	34 45.3	5 6.7
普通	438 100.0	70 16.0	55 12.6	40 9.1	50 11.4	49 11.2	30 6.8	41 9.4	31 7.1	25 5.7	20 4.6	25 5.7	16 3.7	15 3.4	9 2.1	4 0.9	16 3.7	164 37.4	72 16.4
やや苦しい	213 100.0	37 17.4	34 16.0	37 17.4	24 11.3	29 13.6	30 14.1	21 9.9	18 8.5	20 9.4	18 8.5	9 4.2	17 8.0	12 5.6	2 0.9	4 1.9	5 2.3	61 28.6	37 17.4
大変苦しい	86 100.0	11 12.8	12 14.0	24 27.9	11 12.8	12 14.0	20 23.3	12 14.0	12 14.0	5 5.8	8 9.3	8 9.3	4 4.7	6 7.0	4 4.7	3 3.5	5 5.8	25 29.1	14 16.3

(2) 利用したい子育て支援

問 40 あなたは、どのような家庭教育・子育て支援があったら利用したいですか。(3つまで○)

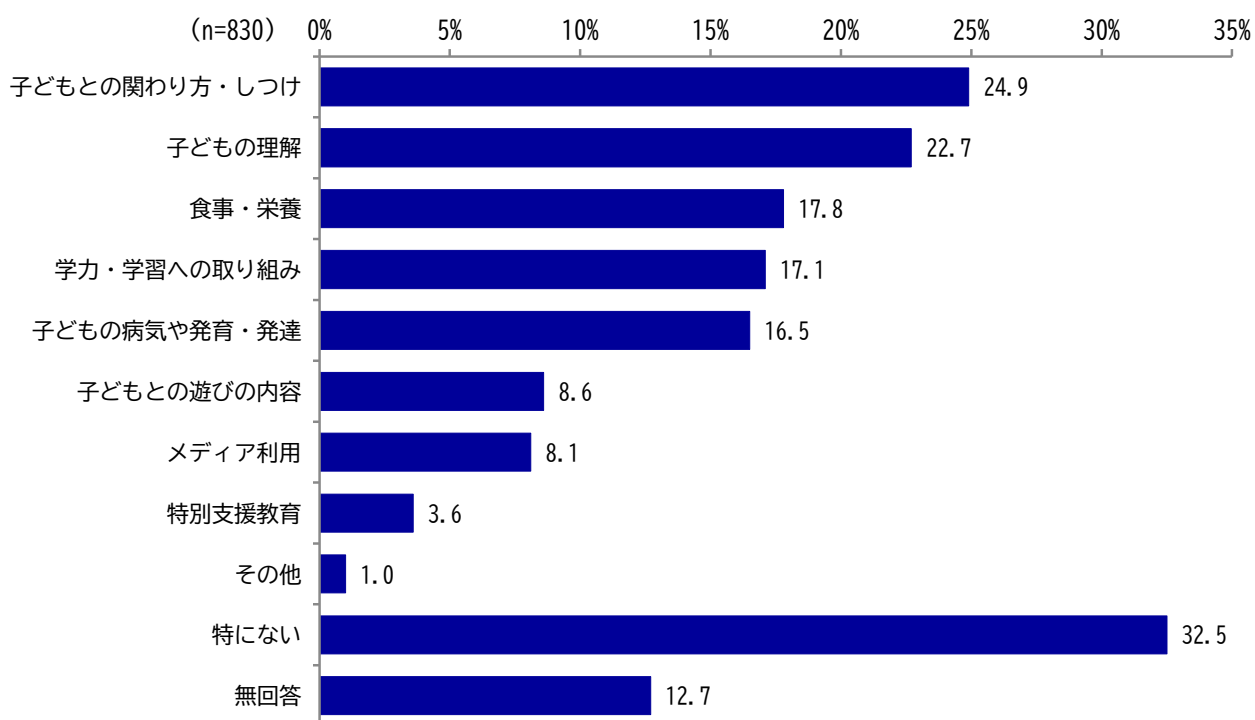
- 「悩みや困りごとを相談できる場や機会」が 26.4%、「親子で学んだり体験したりすることができる機会」が 24.3%、「経済的な支援」が 22.0%と続いています。
- 「特にない」は 28.0%で最も高くなっています。



(3) 家庭教育・子育てに関して学びたいこと

問 41 あなたは、どのような家庭教育・子育てに関する学びの機会があったら参加したいですか。
(3つまで○)

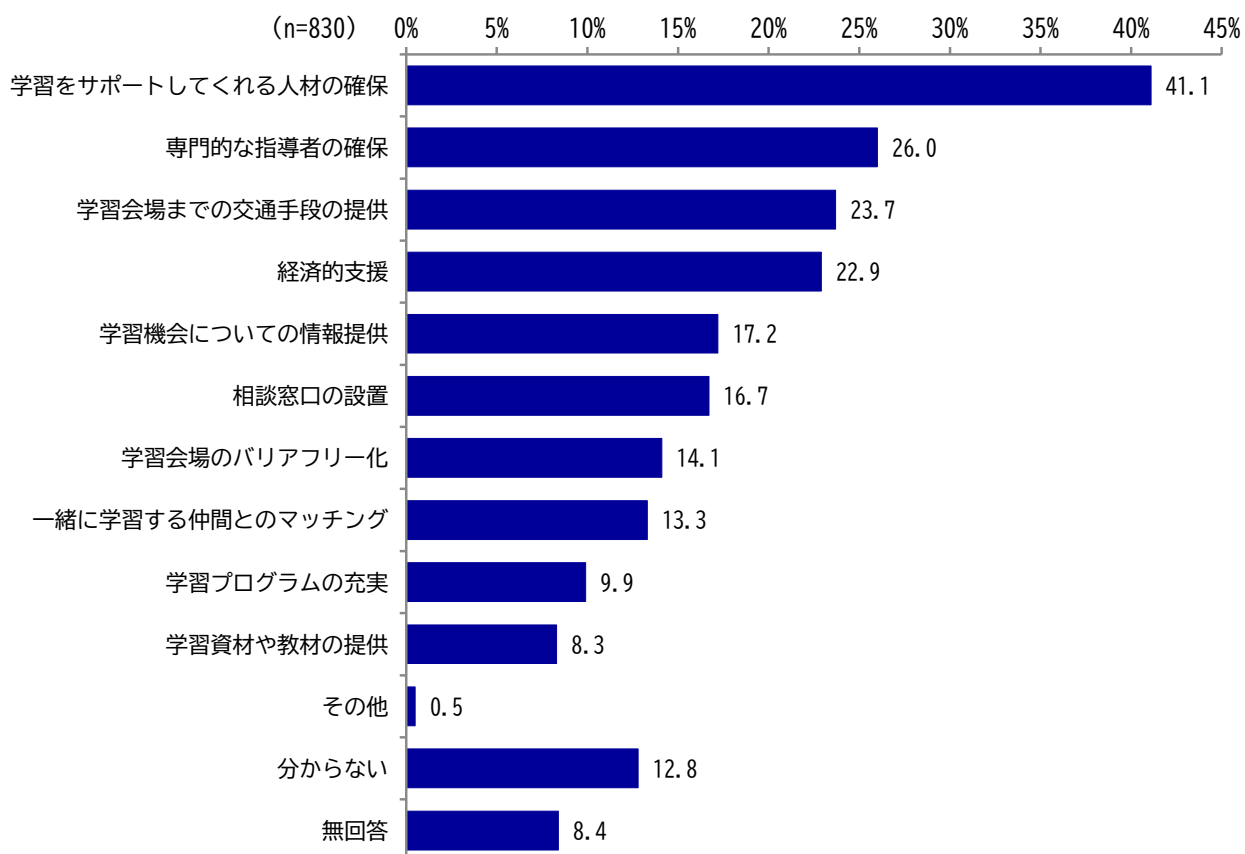
- 「子どもとの関わり方・しつけ」が24.9%、「子どもの理解」が22.7%、「食事・栄養」が17.8%と続いています。
- 「特にない」は32.5%と最も高くなっています。



(4) ケアが必要な人への支援

問 42 あなたは、ケアを必要とする人が学習を行うにあたり、どのような支援があれば良いと思いますか。(3つまで○)

➤ 「学習をサポートしてくれる人材の確保」が 41.1%で最も高く、次いで「専門的な指導者の確保」が 26.0%、「学習会場までの交通手段の提供」が 23.7%と続いています。



【家族の特性別】

▶ 家族の特性別でみると、乳児(1歳未満)、65歳以上の人、介護を必要とする人、上記以外でケアを必要とする人がいる家庭、およびいずれもない家庭では、「学習会場までの交通手段の提供」が上位にあがっています。

▶ 小学生がいる家庭では「学習会場のバリアフリー化」、障がい者がいる家庭では「学習機会についての情報提供」も上位にあがっています。

上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%) ※上位3項目に網掛け	全体	く 学 習 を サ ポ ー ト し て	保 専 門 的 な 指 導 者 の 確 保	手 段 の 学 習 会 場 ま で の 交 通	経 済 的 支 援	情 報 学 習 機 会 に つ い て の	相 談 窓 口 の 設 置	リ 学 習 会 場 の バ リ ア フ ー	と 一 緒 に マ ッ チ ン グ す る 仲 間	実 学 習 プ ロ グ ラ ム の 充	供 学 習 資 材 や 教 材 の 提	そ の 他	分 か ら な い	無 回 答
全体	830 100.0	341 41.1	216 26.0	197 23.7	190 22.9	143 17.2	139 16.7	117 14.1	110 13.3	82 9.9	69 8.3	4 0.5	106 12.8	70 8.4
乳児(1歳未満)	20 100.0	9 45.0	5 25.0	5 25.0	5 25.0	2 10.0	1 5.0	1 5.0	4 20.0	4 20.0	3 15.0	— —	4 20.0	— —
小学校入学前の幼児	66 100.0	33 50.0	20 30.3	12 18.2	19 28.8	10 15.2	5 7.6	11 16.7	10 15.2	7 10.6	7 10.6	— —	10 15.2	— —
小学生	92 100.0	50 54.3	30 32.6	17 18.5	22 23.9	18 19.6	10 10.9	26 28.3	16 17.4	7 7.6	5 5.4	— —	10 10.9	2 2.2
中学生・高校生	101 100.0	46 45.5	31 30.7	28 27.7	34 33.7	14 13.9	16 15.8	18 17.8	8 7.9	11 10.9	3 3.0	— —	11 10.9	3 3.0
65歳以上の人	434 100.0	161 37.1	104 24.0	100 23.0	79 18.2	91 21.0	78 18.0	54 12.4	50 11.5	33 7.6	34 7.8	2 0.5	56 12.9	59 13.6
介護を必要とする人	52 100.0	20 38.5	10 19.2	13 25.0	15 28.8	10 19.2	9 17.3	6 11.5	3 5.8	5 9.6	4 7.7	2 3.8	7 13.5	6 11.5
障がい者	60 100.0	18 30.0	14 23.3	10 16.7	16 26.7	14 23.3	9 15.0	8 13.3	6 10.0	2 3.3	5 8.3	— —	10 16.7	8 13.3
いずれもない	195 100.0	87 44.6	52 26.7	49 25.1	49 25.1	27 13.8	40 20.5	27 13.8	35 17.9	26 13.3	22 11.3	1 0.5	26 13.3	3 1.5
上記以外でケアを必要とする人	22 100.0	9 40.9	8 36.4	10 45.5	9 40.9	4 18.2	2 9.1	2 9.1	2 9.1	— —	3 13.6	— —	2 9.1	1 4.5

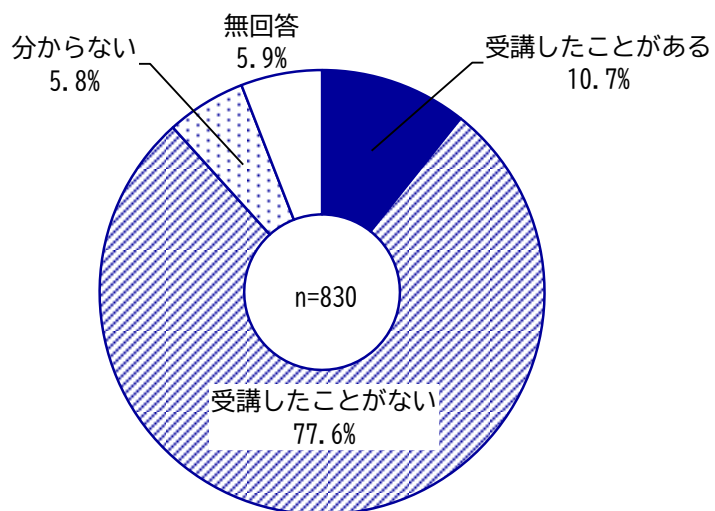
※上記以外でケアを必要とする人＝介護を必要とする人または障がい者以外でケアを必要とする人のこと。

7 今後の生涯学習について

(1) 「丸亀市民学級」の受講経験

問 43 あなたは、丸亀市が実施している「丸亀市民学級」をこれまでに受講したことがありますか。
(1つに○)

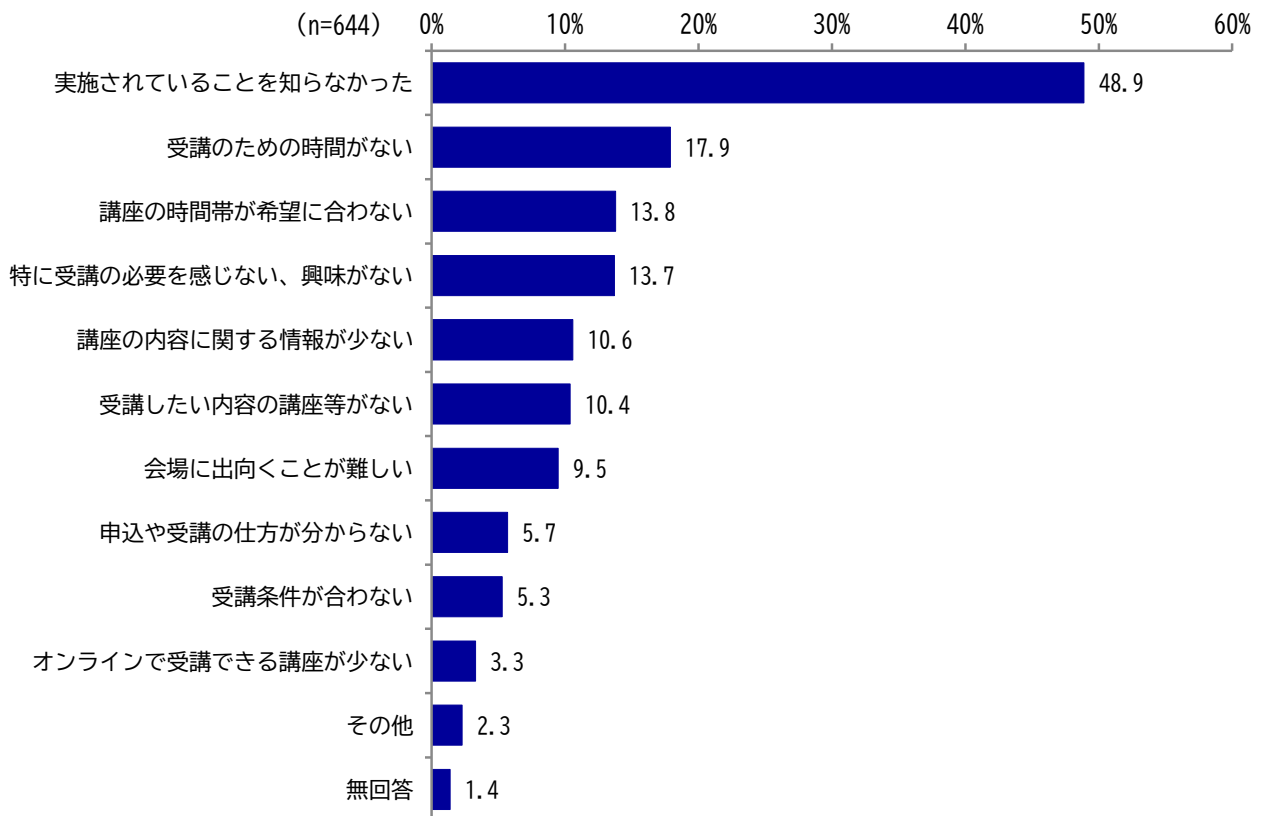
- 「受講したことがない」が 77.6%で最も高く、次いで「受講したことがある」が 10.7%、「分からない」が 5.8%と続いています。



問 43 で「受講したことがない」と答えた方におたずねします。

問 44 あなたが、「丸亀市民学級」を受講したことがない理由は何ですか。（当てはまるすべてに○）

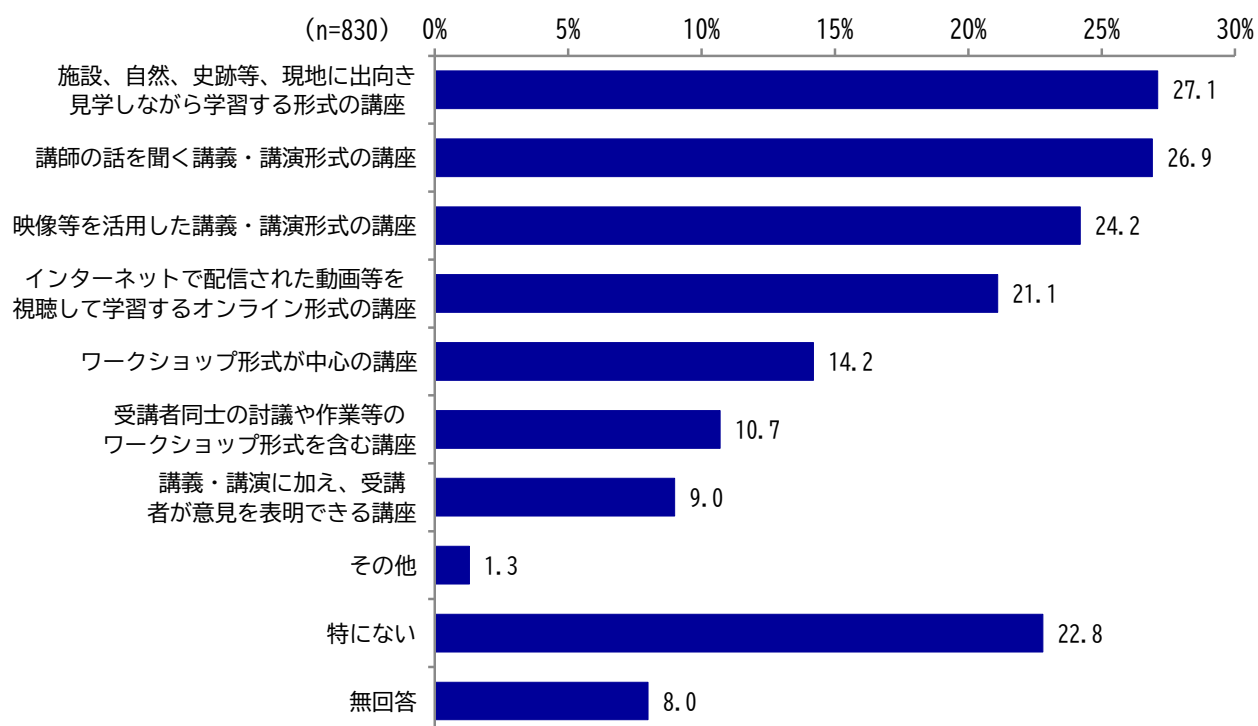
➤「実施されていることを知らなかった」が 48.9%で最も高く、次いで「受講のための時間がない」が 17.9%、「講座の時間帯が希望に合わない」が 13.8%と続いています。



(2) 理想的な講座形式

問 45 どのような進め方（形式）の講座であれば、あなたは市民向けの学習講座を受講したいと思いますか。（3つまで○）

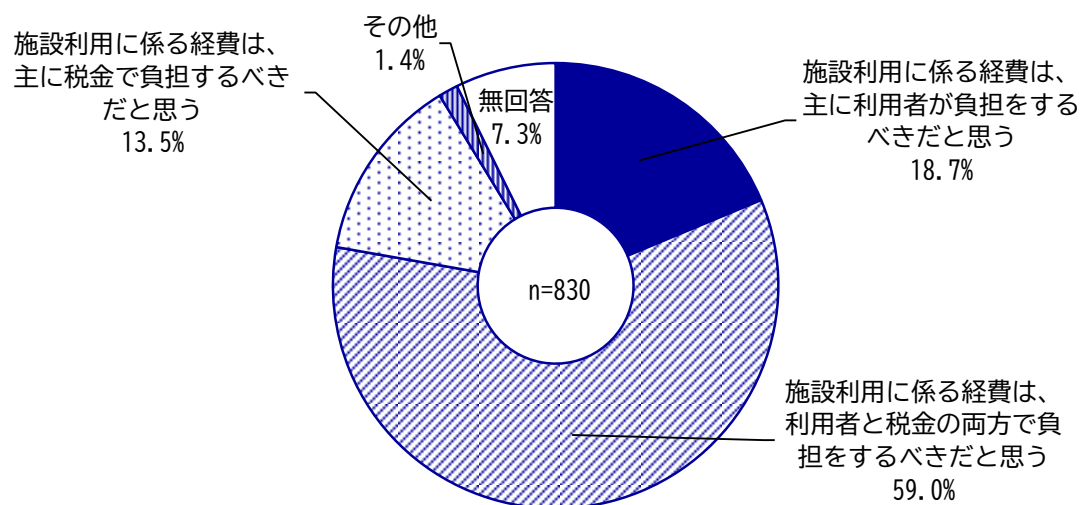
- 「施設、自然、史跡等、現地に出向き見学しながら学習する形式の講座」が 27.1%で最も高く、次いで「講師の話を聞く講義・講演形式の講座」が 26.9%、「映像等を活用した講義・講演形式の講座」が 24.2%と続いています。



(3) 施設運営の経費負担について

問 46 現在、公共の生涯学習施設の維持・運営には皆様の税金が使われています。今後も施設を維持・運営していくために、施設の利用者に一定の利用料金（施設利用料や観覧料等）を負担していただくことで、施設の維持・運営経費の一部に充てる「受益者負担」という考え方があります。このことについて、あなたの考えに最も近いもの1つに○をつけてください。

- 「施設利用に係る経費は、利用者と税金の両方で負担すべきだと思う」が 59.0%で最も高く、次いで「施設利用に係る経費は、主に利用者が負担すべきだと思う」が 18.7%、「施設利用に係る経費は、主に税金で負担すべきだと思う」が 13.5%と続いています。



自由記載 これからの生涯学習推進について、ご意見があればご自由にご記入ください。

- 自由意見については合計 100 件の意見が寄せられました。内訳は以下の通りとなっています。

意見の内容	件数
生涯学習活動について	22
講座・人材の充実について	19
生涯学習施設について	16
情報発信について	12
アンケート調査について	9
まちづくりについて	6
税金など経済的負担について	5
交通手段について	5
その他	6
合計	100